

# NITTOKU NEWS

No. **73**

2018夏季号

**【特集】**

水族館で待っています。



## 1 ご挨拶

代表取締役会長 野島雅寛

## 2~21 【特集】水族館で待っています。驚きに満ちた癒しの世界へ

INTERVIEW

### 4 現代人のオアシス、水族館。

中村 元 ●水族館プロデューサー

### 8 優美で幻想的な癒しの世界。鶴岡市立加茂水族館

### 12 陽光あふれる水族館。アクアマリンふくしま

### 16 捕鯨の町でクジラに会う。太地町立くじらの博物館

### 20 編集室選 全国おすすめの水族館

### 22~25 ●得意先を訪ねて

#### 22 【名古屋市】株式会社愛知レジ

#### 24 【長崎市】株式会社スリケン・プラス

### 26~33 ●TOPICS

■お知らせ

●第112期「定時株主総会」を開催

■自動車製品事業本部

「ATNオートアコースティクス」開所式を開催

■お知らせ

「愛知工場121棟本館」竣工式を開催

■お知らせ

『環境・社会報告書2018年版』を発行

■自動車製品事業本部

「第16回 国際オートアフターマーケットEXPO2018」に出展

■塗料事業本部

「インターモーダルアジア(上海)」に出展

■塗料事業本部

「SEA JAPAN2018」に出展

■塗料事業本部

宮城・仙台「住宅リフォームフェア2018」に出展

●新製品紹介

「プールエースECOシリーズ」「リリーフNADフッ素」「パラサーモフッ素」

■お知らせ

「投資家向けの決算説明会」を開催

■塗料事業本部

防火材料等認定塗料のご紹介

●ニットクのDIYグッズ「吸音デコ」

### 32~37 街を彩るニットクの製品



▲サンシャイン水族館



▲鶴岡市立加茂水族館



▲アクアマリンふくしま



▲太地町立くじらの博物館



## ご挨拶



●代表取締役会長  
野島雅寛

関係各位に誌面をお借りして日頃のご指導、ご鞭撻に対し衷心より厚く御礼申し上げます。

毎年のように日本のみならず世界各地で天候不順やテロを含めた殺人行為、政治、経済、社会面でいろいろな出来事が発生し、漫画やSF映画でしか想像できなかった宇宙への移住さえ実現に向けて動き出そうとしており、この先世の中がどうなっていくのか皆目見当がつかません。個人の方でできないことをあれこれ考えるより、一日一日を真面目に努めることしかないと感じるこの頃です。

当社は自動車産業と塗料産業にかかわっています。自動車部門は海外を含め売上げの大部分が部品に依存する関係上、異業種の集まりのような会社です。液状物の生産、プレス加工による防音部品の生産等、異なる技術ノウハウを有しており、お客様のいろいろなご要望に応えられる会社と認識しています。さまざまな面でぜひご活用いただきますようお願いいたします。

いま日本のスポーツ界では、10代、20代の若い人たちが世界を相手に健闘しており、才能が一番の要素であることは認識しますが、子どものときからの鍛錬の積み重ねがこのような好結果を招いていると考えます。仕事の面で考えると、子どものころから鍛錬を積む訳にはいかず、入社してからのスタートになります。管理者と

しては、いかに早い時期に社員の適性を見抜き、適所に配置して訓練するかが重要と考えます。

少子高齢化により日本のあらゆる市場規模が縮小し、製造業のみならずいろいろな業界が海外市場に依存する比率が年々高まっていますが、若い人たちと同じように当社が関係する2つの業界も世界では伸長を続けています。

例えば、自動車の世界販売台数ではVWが1位ですが、その差は微小で日産・三菱・ルノーグループ、トヨタと続き、本田も7位を維持しています。車種別の販売台数ではカローラ(トヨタ)が116万台/年と1位を占め、CIVIC、RAV-4、CR-V(ホンダ)、カムリ等、20位以内に日本車は9車種を占めています。塗料においても、ここ20年くらい国内生産は160万トン台で推移していますが、海外生産は300万トン台と6年前に比べると倍増しています。

当社も、国内での新規部品の受注と海外の2つのJVを連結対象にした結果、売り上げは大きく伸長しました。しかし、初期投資、立ち上げ費用の増加等で利益は伴っていません。ただし、改善は徐々に進んでおり、皆様のご期待に応えるよう最大の努力をする所存です。今後ともご指導・ご鞭撻の程よろしく願いたします。

最後になりますが、皆様方のご多幸を祈念いたします。

特集

# 水族館で待っています。

## 驚きに満ちた癒しの世界へ

海や川、水辺に暮らす生き物に出会える場所、水族館。

そこでは生態系を学べるばかりでなく、滅多に見られない多様な生物の存在を知り、新たな発見と新鮮な驚きを体験できる。

そして、眺めているだけで心が癒される場所として、

老若男女問わず、多くの人々に親しまれている。

今回の特集は、神秘的で不思議に満ちた、未知の世界が広がる水族館へ。

イルカ  
008

名古屋港水族館のイルカプール。  
イルカの優雅な泳ぎを見ていると時間を忘れる。

# 現代人のオアシス、水族館。

●水族館プロデューサー  
中村 元



サンシャイン水族館の「天空のペンギン」水槽を眺める中村氏。都会の空を飛ぶようにケープペンギンが泳ぎ、まるで自分が水中にいるような感覚になる。すぐ近くには草原や巣穴など自然環境を再現した「草原のペンギン」コーナーもあり、陸上のペンギンを間近で見ることができる。

なかむらはじめ ●1956(昭和31)年三重県生まれ。「鳥羽水族館」でアシカのトレーナーを経て、副館長就任。退職後、水族館プロデューサーとして「新江ノ島水族館」「サンシャイン水族館」「北の大地の水族館」「マリホ水族館」などのリニューアルを手掛け、成功に導く。著書に「水族館哲学 人生が変わる30館」(文春文庫)、「中村元の全国水族館ガイド115」(長崎出版)、「水族館の通になる一年間3千万人を魅了する楽園の謎」(祥伝社新書)、「常識はずれの増客術」(講談社+α新書)など多数。バリアフリー観光を開発する観光再生のプロデューサーも行う。東京コミュニケーション専門学校教育顧問。北里大学海洋生命科学部学芸員コース非常勤講師。特定非営利活動法人日本バリアフリー観光推進機構理事長。特定非営利活動法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター理事長。  
●ブログ水族館 <https://blogs.yahoo.co.jp/kapaguy>

## ビルの屋上の水族館

ペンギンが高層ビルの合間を飛んでいるみたいでしょう？ 上を見ればペンギン越しに空が広がり、それを水中のずっと深いところから眺めている感じがしませんか？ ここ「サンシャイン水族館」はカップルのお客様がとても多いのですが、見つめ合った時に相手の顔に光がユラユラと映るのもポイント。まるで水の中にいるような不思議な感覚が味わえます。

この「天空のペンギン」水槽は、昨年夏の第2期リニューアルで新たに開発したものです。2011(平成23)年の全館



緑化が図られた「サンシャイン水族館」の屋上でお話しする中村元氏。緑が真夏の暑さを和らげ、過ごしやすい。

リニューアルの時よりも反響がありました。

本来、水族館は海との相性がとてもいいので、大抵は海のそばにあります。でも、ここは都会の真ん中で高層ビルの屋上。使える水の量に厳しい制限があります。イルカ用の大きなプールなどを置くわけにもいかず、全館リニューアル前は水族館というよりも、陸上の小動物を飼育、展示するミニ動物園のようでした。そこで僕が提案したのが、子ども向けのミニ動物園を大人向けの水族館にすること。ちょうど水族館が若い女性の支持を集め始めていたころでした。サンシャインシティには多くの女性客が買い物に来ますし、オフィスフロアで働いている女性も多い。周辺には新築マンションも増えていて、子どもが生まれたり、公園デビューならぬ水族館デビューも期待できます。

そこで、リニューアルのテーマに掲げたのが「天空のオアシス」です。まずは屋上庭園の緑化を図りました。ビルが建ち並ぶ都会で、水と緑のある所はまさに憩いの場。特に女性は潤いを好みますからね。目を引く展示として、頭上でアシカが泳ぐドーナツ型水槽を作りました。そして館内には、サンゴ礁

の海を切り取ったような「サンシャインラグーン」水槽。これら水と緑とアシカ効果で、オープン当初は入りきれないほどの来館者がありました。いまでも平日でも午前中から多くのお客様で賑わっています。

## 人は「水塊」に感動する

水族館をプロデュースするにあたり、一番こだわっているのが「水塊」です。海の塊、川の塊をそのまま水槽に表現するものです。これは、実際に海や川に潜った時に感じる美しさや怖さ、清涼感、心地よい「浮遊感」といった非日常を感じていただくためのもの。生き

物を見せるという従来の展示スタイルにはない発想でしょう。

僕自身、幼少期に初めて川に潜って驚いたのが、銀色の水の玉のような泡が線になってきらきらと走る景色でした。魚を捕まえることも忘れて見とれたあの光景を、50年以上経ったいまもはっきり覚えています。その感動をお客様にも味わっていただきたいのです。

数ある水族館の中でも僕が好きなのが、日本一大きな「水塊」がある「名古屋港水族館」。まず入ってすぐのシャチの巨大水槽にグッと心をつかまれます。イルカが全力で泳げるほどの巨大プールの中観覧席からの眺めも圧巻だし、無数のマイワシが泳ぎ回るマイ

ワシのトルネードは芸術作品のよう。「水塊」の規模が桁違いです。

そもそも「水塊」という言葉自体、僕が名付けたものですが、思いついたのは沖縄の「美ら海水族館」の巨大水槽を初めて見た時。圧倒的な水量にショッ



美ら海水族館の巨大水槽。幅22.5m、高さ8.2m、厚さ60cmのアクリルパネルの向こうでは、全長8.7mのジンベエザメやナンヨウマンタなど、多種多様な魚が泳ぐ。写真：中村元

クを受け、「水の塊」という言葉が浮かびました。一方で、人が感動する「水の塊」は大きな水槽でなくても作れるのではないかと思いました。そうして最初に「水塊」を実現させたのが、神奈川県「新江ノ島水族館」です。

## 水族館の色は、青

当時、僕は勤務していた「鳥羽水族館」を辞め、「新江ノ島水族館」のプロデュースを始めたばかり。「美ら海水族館」に負けない「水塊」を目指し、作り上げたのが「相模湾大水槽」です。造波装置を使って絶えず波を発生させ、自然環境に近い状態で生き物を展示。

アクリルの端を隠したり、岩礁などにも気を遣ったりして、水槽全体を大きく魅力的に見せる工夫もしました。江ノ島沿岸の“水塊”をリアルに再現したのです。以降、“水塊”にこだわって水族館をプロデュースしてきました。

水槽作りで特に難しいのが色です。水族館で使われている擬岩や擬木は、プラスチックやコンクリートに塗料を塗ったもの。天然の石は水をかけると黒っぽくなりますが、塗装したものは水に濡れると逆に明るく見えます。そのため、擬岩などは水中での見え方を想像しながら、かなり暗い色を使っています。

色でもっとも大切にしているのが、青です。理由は私たちが抱えている海のイメージが青だからです。これはお客様調査でわかったことで、来館者は薄い青色や緑色の水槽よりも、濃い青色の水槽の前で足を止め、長くどま

る傾向が強くありました。そのため、水槽の壁の色には徹底してこだわりますし、擬岩を部分的に青く塗装することもあります。

また、照明も大切。水中にいるような感覚を楽しんでいただくために、水槽以外はできるだけ暗くしています。これは映画館と同じ原理で、その世界に入り込みやすくするため。「サンシャイン水族館」の「サンシャインラグーン」もこの手法を取り入れています。さらに、水槽の奥を暗くすることで、どこまでも続く海を演出しています。

### 弱点を魅力に変える

2012年にリニューアルを手掛けた北海道北見市の「北の大地の水族館(山の水族館)」は、もともと弱点だらけの水族館でした。内陸にあるうえに、1時間圏内の人口はわずか5万人程度。展示



美ら海水族館に負けない“水塊”を目指し、作り上げた新江ノ島水族館の「相模湾大水槽」。写真:中村元



北の大地の水族館の「滝つぼ水槽」。滝つぼを下から見上げるという展示は世界初。瀑布による激流の泡の中をオシロココマが力強く泳ぐ。写真:中村元



マリホ水族館の「うねる渓流の森」。“うねる川”“寄せる波”を再現した世界初の水塊水槽。水中の非日常の世界を都会で感じることができる。写真:中村元

は川の魚だけで華やかさに欠けるし、冬になると水面が凍ってしまう。おまけに予算が少ない!

でも、弱点が多い方が進化できるというのが僕の考え。川や滝が多い北海道の地形の特色を生かし、大地を水中から覗くというコンセプトを打ち出し

ました。そして作ったのが、ポンプを使って滝つぼを再現し、それを水中から眺める「滝つぼ水槽」。そこでは、泡で覆われた滝つぼに向かって、たくさんのおシロココマが力強く泳ぐ様子を見ることができます。冬になると水面が自然に凍り、凍った川の下の様子を

見られるという世界に類を見ない水槽も作りました。

オープンに合わせ、よその水族館にはない独自性をメディアにPR。すると、地元の人しか知らなかった小さな水族館は全国的に注目される人気スポットになりました。あきらめなければ必ず方法は見つかります。小さい水族館が大きい水族館のマネをしても勝てません。展示を工夫したり、水の躍動感を表現したり、その土地の個性を生かすことが必要なのです。

### 水族館をもっと楽しむために

水族館に行くなら朝一番が断然お勧めです。まず水槽の水が澄んでいて、生き物がきれいに見えます。アシカなどの哺乳動物もよく遊んでくれます。彼らは人間が遊び相手になってくれることを知っていますから、一晩中退屈していた分、オープン直後はとても愛想がいい。昼頃にはだんだん飽きてくるようですが(笑)。人も少ないのでじっくり見ることができます。もしも混んでいる場合は、できるだけ水槽に近づくといい。周りの動きが目に入らないので展示に集中でき、“水中感”が増します。これは小さな水槽の展示を見る時と同様に効果的です。

また、すべてを見ようとするよりも、美術館で作品を鑑賞するように、自分がいいと思った展示に時間をかける方が楽しめるのではないのでしょうか。

そして一番のお勧めは、お気に入り

の生き物を見つけて名前を付けること。きっと毎日でも会いに行きたくなるでしょう。実際にペットを飼ったら世話が大変ですが、水族館なら飼育員がやってくれます。赤ちゃんが生まれたりみんなでお祝いできるし、死んでしまったら悲しみを分かち合うこともできます。「サンシャイン水族館」にも毎日カワウソを見に来るお客様がいます。もし自宅の近くに水族館があれば、年間パスポートの購入がお得です。

\* \*

現在、僕が取り組んでいるのが中国の大規模な水族館です。「サンシャイン水族館」を気に入ってくれた中国の企業から依頼があり、設計の最終段階に入ったところ。完成は2年くらい先でしょうか。

日本では今後、都市部に水族館が増えていくと思います。僕も昨年、広島市内に「マリホ水族館」をプロデュースしました。“生きている水塊”がコンセプトの小さな水族館です。広島の渓流を表現した“うねる渓流の森”は、美しく躍動する“水塊”を見せるための水槽。ほとぼしる水に、命溢れる地球を感じていただけたらうれしく思います。これからも大人向けの都市型水族館をたくさん作っていききたいですね。

都会に暮らす現代人が、自然を身近に感じながら手軽にリフレッシュできる水族館。個性的で魅力的な水族館が増えていきますので、ぜひ自分なりの楽しみ方を見つけて足を運んでください。



濃いブルーにこだわったサンシャイン水族館の「サンシャインラグーン」水槽。エサやりのパフォーマンスも行なわれている。水槽の深さは手前が2.5mで、一番奥が2m。遠近法で、より遠くまで続いているように見える上に、水量を減らせるメリットもある。館内の照明を暗くし、さらに水槽の奥も暗くすることで、水槽をより大きく見せ、大海に抱かれているような気分になる。他にもクラゲ水槽「ふわりうむ」や「カワウソたちの水辺」などさまざまな展示が人気。

# 優美で幻想的な癒しの世界。

鶴岡市立加茂水族館

直径5mの円形大水槽「クラゲドリームシアター」。約2,000匹のミズクラゲがゆっくりと水に漂う姿は、まさに夢の世界を覗いているかのよう。幻想的な光景は癒し効果抜群で、時が過ぎるのを忘れてしまうほどだ。水槽前でコンサートが行なわれることもある。

展示しているクラゲの種類は世界一。  
難しいクラゲの飼育、繁殖に次々と成功し、  
国内外から注目されている山形県鶴岡市の「加茂水族館」。  
平日でも多くの来館者で賑わい、  
夏休みは入場規制がかかる日があるほどだ。  
ふわふわ、ゆらゆらと浮かぶクラゲの世界はどこか幻想的で、  
つい足を止めて見入ってしまう。  
人の心を捉えて離さないクラゲの魅力を奥泉和也館長に伺った。



## 来館者数10万人弱から71万人に

クラゲは美しいですね。ゆらゆらとゆっくり動く姿は、せせこましい人間界からしたらうらやましく見えます。それがお客様に足を運んでいただける理由かもしれませんね。

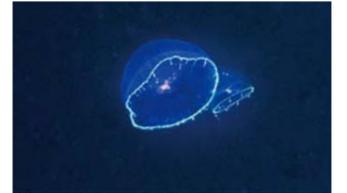
「加茂水族館」は今までこそ大勢のお客様に来ていただけるようになりましたが、クラゲ展示を始めるまでは年間来館者が10万人を割り、経営が厳しい状態でした。当時飼育していたのは、魚類の他にアシカやラッコ、カワウソ、アライグマ……。人気動物を集めていましたが、次々とオープンする大型水族館にはかないませんでした。

クラゲを展示するきっかけになったのが、1997(平成9)年の「生きたサンゴと珊瑚礁の魚」の特別展です。起死回生を賭けた大掛かりなプロジェクトでしたが、来館者数アップにはつながりませんでした。でもある朝、サンゴの水槽に4mmほどの生き物が30匹ほど泳

いでいるのを見つけたのです。当時飼育係だった私は、知り合いの水族館職員に問い合わせ、それが「サカサクラゲ」であると知りました。教えてもらった方法で飼育したところ、2カ月後に500円玉くらいまで成長したので展示したのです。

すると、サカサクラゲの水槽前で、お客様がじーっと見ていました。カラフルな熱帯魚の水槽よりも滞在時間が3~5倍は長い。「ああ、クラゲは人を立ち止まらせるんだな」と。それで別の種類も海で捕まえてきて展示したところ、お客様がすごく喜んでくれたのです。うれしかったですね。私は子どもの頃から釣りが好きで、クラゲを邪魔者だと思っていましたが、その時から俄然、興味が湧きました(笑)。

2005年には来館者数が年間17万人に増え、「クラゲドリーム館」がオープンした2014年には71万の方が来てくださいました。最近は落ち着いて55万人くらいですが、それでも年10日ほどは



パラオ共和国の海外で採取した「ミズクラゲ」属の一種(上)。ミズクラゲは生息場所によって傘の厚みや湾曲の具合、口腕の長さなどが異なる。毒性は弱い。「オワンクラゲ」(下)は傘の縁に緑色蛍光タンパク質があり、緑色に発光する。

入場規制をさせていただいています。  
現在65種類前後のクラゲを飼育していますが、ここまで来るのは簡単ではありませんでした。

## 水槽の開発で世界をリード

クラゲは飼育が非常に難しい生き物です。サカサクラゲはほとんど動かず、光合成で栄養を得られるので比較的簡単ですが、他のクラゲは排水口に吸い込まれたり、パイプに引っかかったり。体の90%以上が水でできていて軟らかく、すぐに崩れて死んでしまいます。

必要なのは、クラゲに適した専用の



館内では、間たにたゆたうクラゲの優美な姿に見とれ、思わずカメラを向ける客も多い。左はクリーム色が特徴の「ルサーナジェリー」などの展示。長い触手を持つクラゲは水槽内で触手が複雑に絡み合い、飼育員がはさみで切ることもある。触手は人間の髪の毛と同じで再生される。上は、傘径50cmほどある大型クラゲ「プロカムアジェリー」。日本のアカクラゲと似ているが、赤い縞模様が美しくも毒々しく見える。



カブトクラゲの一種、「キタカブトクラゲ」。水深1,000mにも生息するという報告がある。クラゲは、体の表面に楯板を持つ「有楯動物」と、刺胞という毒針を持つ「刺胞動物」の2つに大きく分けられるが、キタカブトクラゲは有楯動物で、楯板が光を反射して7色に光って見える。生まれたばかりの頃は触手があるが、成長と共になくなっていく。

水槽でした。既存の高価な水槽を買う余裕はなかったので、自分たちで開発するしかありません。3年かけてようやく独自の水槽を開発することができました。いまでもそれが最先端の水族館で使われていて、パリやウィーンでも取り入れています。そして、水槽開発によって世界中のクラゲの赤ちゃんが当館に集まるようになり、視察に見



奥泉和也館長は1983年にアシカショーのトレーナーとして「加茂水族館」に入社。1997年にクラゲと出会い、生態に魅了され、難しいクラゲ水槽の開発を3年がかりで成功させた。「工夫は失敗することが大前提。失敗しなければ問題が見えてこない、それをクリアしなければ成功につながりません。」

える国内外の水族館職員とも情報交換できるようになりました。

当館がここまでできたのは、クラゲの展示を始めて2~3年した頃に、鹿児島大学名誉教授の柿沼好子先生から直接指導を受けたことが非常に大きいです。柿沼先生は世界で初めてミズクラゲの繁殖に成功した大家。クラゲの卵の直径から細胞期の過程、水温との関係など、数々の詳細な研究データをお持ちで、先生のおかげで人脈を広げることもできました。そのなかで、私たち自身が難しいクラゲの繁殖の虜になっていったことと、何よりお客様がクラゲを見て喜んでる姿に感動したこと。それが現在につながったのだと思います。

### 研究施設の一部も公開

館内には、クラゲの一生を紹介する「クラゲ解説コーナー」もあります。ここで1日に4回、飼育員が映像を見せながら、クラゲの赤ちゃんが餌を食べる様子などを解説していますが、大人も子どもも真剣に耳を傾けています。モニ

ターに映し出されるのはすべてライブ映像。赤ちゃんクラゲの動きが良い時もあれば悪い時もありますが、それも生き物ならではの、資料映像ではない臨場感が好奇心をそそるのだと思います。

クラゲは解明できていない部分が多岐にわたる生き物です。しかし、謎を一つずつ解明することで展示が可能になり、繁殖もできるようになってきました。いまでも専門家と研究を重ねていますので、今後さらに新しい展示をお見せできると思います。



水族館の中に「鶴岡市クラゲ研究所」があり、そこでの研究成果もクラゲ解説コーナーで公開している。当日生まれたものや生後すぐのクラゲなどに餌のアルテミア(エビの一種)を与えて食べる様子や、胃袋や触手の動きをライブ映像で解説。ミズクラゲが受精卵から成体へと育っていく段階も生体展示やイラストでわかりやすく紹介している。



透明度が高く、はかなさを感じる「アマガサクラゲ」。2017年3月に姉妹館である「かごしま水族館」と世界同時初展示した。



「コティロリーザツベルクラータ」はその姿形から「目玉焼きクラゲ」とも呼ばれる。成長すると口腕の先が青紫色になる。



鮮やかな赤色が特徴の「ブラックシーネットル」。傘が1m、触手が6mを超える巨大クラゲで、毒針を持っている。



食用として広く流通している「キャノンボールジェリー」。パリ水族館から提供されたポリブを繁殖させ、展示している。



その名の通りウリの形をした「ウリクラゲ」。自分の体の倍はあるカブトクラゲを一飲みにして、パンパンに膨らむ。



長い触手とフリルのような口腕を持つ「パンフィクシーネットル」。アメリカ西海岸に生息し、猛毒を持つ。大量発生することもある。



ふわりふわりと漂う「パープルストライプドジェリー」。成長すると、傘に鮮やかな赤紫色の放射状の縞模様が見れる。



北極圏に生息する「キタクウレイクラゲ」属の一種。バンクーバー水族館から提供されたポリブを繁殖させ、展示している。

### 地域に密着した水族館として

クラゲは食べることもできます。レストラン「魚匠ダイニング沖海月」ではクラゲを使ったメニューも豊富。特にクラゲラーメンは好評です。食育にも力を入れていて、食材はなるべく地元で採れた魚介類を使用。昨年からは地元産のトラフグもリーズナブルな価格でご提供できるようになりました。

また、現在飼育しているのは、クラゲの一部とアシカ、アザラシを除き、す

べて庄内の海や川で見られるものばかりです。当館前の砂浜に上がってくる傷ついたカメを治療して、海に返すレスキュー活動なども行なっています。

そもそも「加茂水族館」は、1930(昭和5)年に「山形県水族館」としてスタートし、地元の方に支えられてきた長い歴史があります。現在、来館者の内訳は山形県民が2割で、8割は他県から。「クラゲ世界」のネームバリューができ、ますます地元の活性化につながればという思いです。



庄内に生息する魚の展示も人気。淡水魚コーナー(左)は川の上流域や下流域の魚、湖や沼などの魚に分けて紹介。海水魚コーナー(下)ではマダイやスズキなど、沿岸から深海に生息するお馴染みの魚から見たことのないような生き物にまで出会える。



日本海の庄内浜に面して建つ「加茂水族館」は「クラゲドリーム館」の愛称を持つ。アシカショーやウミネコの餌付けも行なわれているほか、ウミガメやアザラシのプールもある。

クラゲは種類によって姿かたちが本当にさまざま、動きも異なる、人をひき付ける生き物です。ただ水の流れに身を任せ、餌を食べ、最後は水に溶けて死んでいく。お客様はそんなクラゲを見て「はかないな」、あるいは「理想的だな」なんて思っているのかもしれない。より多くの方に楽しんでいただけるよう、これからも工夫を重ね、さらに素敵な展示をお見せしたいと考えています。

●鶴岡市立加茂水族館  
山形県鶴岡市今泉大久保657-1 / ☎0235-33-3036 / 通常9:00~17:00・7月28日~8月19日 9:00~17:30 / 年中無休

# 陽光あふれる 水族館。

アクアマリンふくしま

水族館は環境教育の場でもあるが、生息環境をさらに掘り下げて展示しているのが、福島県いわき市の「アクアマリンふくしま」である。ここは“海を通して「人と地球の未来」を考える”がコンセプトの体験型水族館で、自然環境を再現した多くの施設がある。自然を五感で感じるためのさまざまな工夫が施された館内を巡った。

“潮目の海”がテーマの大水槽。三角トンネルからの眺めは、まるで海中に入り込んでしまったかのように。ガラス屋根から太陽光が入り、生き物を自然の色で観察することができる。

## 魚の目線で“潮目”を観察

太平洋を日本列島に沿って北上する黒潮と、南下する親潮が出会う福島県沖。潮目は魚が多く集まる良い漁場として知られるが、いわき市の小名浜港近くにある「アクアマリンふくしま」はそんな地理的特徴を生かし、“潮目の海”をテーマにした展示を行なっている。

そのシンボルが、建物の2~4階を占める総水量2,050トンの大水槽。中ほどに三角のトンネル通路があり、入って右側が黒潮、左側が親潮の水槽だ。黒潮水槽にはカツオやマグロ、マイワシなどお馴染みの魚が元気に泳いでいる。一方、生命を育む豊かな海とされる親潮水槽はプランクトンが多く、岩や海藻が繁茂し、その合間を泳ぐ小魚やサンマなどを見ることが出来る。いずれ



大水槽の黒潮側の上部にはマイワシが群れをなして泳いでいる。小さな銀色のマイワシが一条乱れぬ動きで塊となって泳ぐ姿は圧巻。魚同士がぶつからないのは、視覚に加え、体側にある側線という器官で距離を感知しているため。

の水槽にも陽光が降り注ぎ、トンネルに入ると、まるで海中にいるよう。そして、黒潮と親潮が出会う潮目を魚目線で眺めている気分になる。

「当館は、日頃生き物たちが暮らしている自然環境をそのまま見せる“環境再現型”の展示をしています。自然光が入るので、自然界と同じ色で魚を観察できます」と語るのは、事業調整グループ企画チームの西山綾乃さん。建物全体がドーム型のガラス屋根に覆われているため、水槽にたっぷり日光が入る設計だ。ただし、人工の照明と違って藻が繁殖しやすいため、水槽の頻繁な清掃が欠かせないそう。そんな陰の努力あつての貴重な展示である。

また、この大水槽では餌やりにも工夫がある。カツオやキハダは給餌の時に興奮して壁やアクリル面にぶつかりやすい。そのため給餌台を使用して、水槽の中央部分から餌を与えることで事故を防いでいる。さらに、アクリル面の際から出る人工エアーム、魚は泡が噴き出ている場所を警戒して近寄らないという習性を利用してしているようだ。

## 親潮と黒潮の源流をたどる

親潮と黒潮の生き物については、別のコーナーでさらに詳しく紹介してい



事業調整グループ企画チームの西山綾乃さん。水族館勤務で、地球環境や水産資源に関して自然に興味を持つようになったそう。館内で一番好きな生き物は「寝ている姿がかわいいカウソウ」。

る。親潮の源となるのはベーリング海からオホーツク海の冷たい海。「北の海の家獣・海鳥」コーナーでは、ゴマフアザラシやトド、エトピリカなどを展示し、迫力満点の餌やりが来館者に人気だ。

一方、黒潮の源流域を再現した「熱帯アジアの水辺」コーナーは、熱帯地方特有の高温多湿の環境で、植物が陽射しを浴びて生い茂っている。ベニスズメやコウラウンといった鳥も飼育され、鳴き声や羽ばたく音も聞こえる。そんな自然界さながらの環境で、アジアアロワナが優雅に泳いだり、ミナミトビハゼが干潟を這ったり飛び跳ねたり。さま



右側の黒潮水槽には、プランクトンを餌にするマイワシやカタクチイワシなどの小魚と、それらを餌にするカツオやマグロなどが同居し、「食う、食われる」の食物連鎖を再現。左側の親潮水槽には岩や海藻が多く、サンマやチゴタラなどが見られる。親潮は植物プランクトンが多いため、黒潮に比べて海水が白く濁って見える。人工の照明と違い自然光は藻が繁殖しやすいため、掃除も頻繁に行なっている。





「北の海の家・海鳥」コーナーの餌の時間は特に人気。人間たちを観察するかのようなゴマフアザラシの姿はかわいく、トドが巨体をくねらせながらダイブしたり、鳴いたりする姿は迫力満点だ。



高温多湿の環境を再現した展示となっている「熱帯アジアの水辺」コーナー(左)。東南アジアの川に棲むアジアアロワナ(右)は「生きた化石」ともいわれ、飛んでいる虫を捕まえて食べる。



ヒトデやナマコ、ウニなど小名浜の生物に触れることができる「子ども体験館」のタッチプール。それぞれの体の作りや感触の違いが体感できる。



潮の香りと海風が心地良い「蛇の目ビーチ」。砂浜で遊んだり、ヒトデやナマコ、小魚を観察したり……。裸足になって生き物と触れ合うことができる。水族館の建物は全面ガラス張りのため、天候や時間によって展示されている生き物も見え方が変わる。

さまざまな命を身近で感じることができる。

さらに、「親潮アイスボックス」コーナーでは、ラウスツノナガモエビやハゴロモコンニャクウオなど、他の水族館ではめったに目にできない生き物を数多く展示。中でも注目は“世界一ブサイクな魚”と不名誉なキャッチフレーズが付けられたニュウドウカジカ。ブサイクなのは死んだ顔で、泳いでいる姿はとても愛嬌がある。生き物の“レア度”を星の数で表示したり、「寄り目がかわいい」「たべられませんよ」といった解説もユニークである。

福島近海の生き物をじっくり観察できるのが「ふくしまの海～大陸棚への道～」コーナー。世界最大のカニとし

て知られるタカアシガニが水槽にたくさん展示されている。その姿は、水槽の下についた丸窓からも間近に観察できる。体表が驚くほど薄くて、擦れて死んでしまうことが多いため、水族館ではほとんど見ないというギンカガミも飼育。メタリックな銀色の薄い体を輝かせながら元気に泳ぐ姿を見ることができる。

### 五感で感じる海の生き物

「体験活動にも力を入れているので、館内をご覧いただいた後はぜひ自然体験を楽しんでください」と西山さん。屋外施設へと続く場所にある「子ども

体験館 アクアマリンえっぐ」は、生き物の多様性や命の尊さを楽しみながら学ぶ施設である。

子ども向けをうたってはいるが、魚類から進化した爬虫類が展示されていたり、擬態する生き物を間近でじっくり観察できたりと、充実ぶりに大人でも見入ってしまう。コウイカの水槽前では、近くにいた飼育員がメスをめぐるオス同士の駆け引きや交接(交尾)、皮膚の色の変化など、その生態をユーモラスに実況解説してくれた。館内には飼育員やボランティアスタッフが多いので、声をかけてみるのもお勧め。日々のきめ細かい観察と生き物への深い愛情を感じる話に、大人も子どもも

ワクワクさせられるに違いない。

「子ども体験館 アクアマリンえっぐ」では釣りもでき、釣った魚を自分でさばいて食べる体験学習を通して、子どもたちに命の教育も行なっている。缶詰作りや鯉節けずり、魚介類の炭火焼きなど、漁業文化に親しむ各種体験も用意されている。

さらに屋外には、海辺を再現した「蛇の目ビーチ」。裸足で水遊びができ、ヒトデやナマコなど海辺の生き物に触れることができる。緑が生い茂り、小



子どもが楽しみながら生き物を観察できるように、いろいろな仕掛けがされた「子ども体験館」。エビやカニがユニークな形の水槽で展示されていたり、擬態する生き物を集めたりしたコーナーもある。

川が流れる「BIOBIOかっぱの里」では、1年を通してメダカやカエルなどの生き物の観察が可能だ。

### 水産資源としても着目

「アクアマリンふくしま」は食育にも力を入れている。なかでもユニークなのがHAPPY OCEANS(ハッピーオーシャンズ)の取り組み。数が多く資源量が安定した魚介類を食べ、少ないものはなるべく避けようという運動である。三角トンネルの大水槽前にある寿司処「潮目の海」やレストラン「アクアクロス」でも、豊富な食材を中心に仕入れて提供している。そのほかにも、近隣の学校を回る「移動水族館」や、シーラカンスの研究・保全活動などにも積極的だ。

イルカなどの派手なショーはないが、自然に近い環境の生き物を見てみると心が安らぎ、時間を忘れるほどである。「潮目の海」の大水槽に始まり、地球環境や生き物と私たち人間の暮らしとの深いかかわりに、再発見させられるこ



開館当初からシーラカンスの調査を行なっている「アクアマリンふくしま」。貴重な解剖標本をはじめ、世界で初めて撮影された稚魚の水中映像などを「シーラカンスの世界」コーナーで公開(上)。また、「オセアニック・ガレリア」コーナーでは、「アクアマリンふくしま」の研究や活動を紹介している(下)。「漁場から食卓まで」「地球環境の保全活動」などブースごとに分けてわかりやすく案内している。

とも多い。慌ただしい日常から離れ、たっぷり時間をかけて回ることをお勧めする。

●アクアマリンふくしま  
福島県いわき市小名浜字辰巳町50/☎0246-73-2525/3月21日～11月30日 9:00～17:30・12月1日～3月20日 9:00～17:00/年中無休  
※展示生物は変更となる場合あり



「アクアマリンふくしま」が発見した新種・ラウスツノナガモエビ(上左)やニュウドウカジカ(上右)など、珍しい生き物が多い「親潮アイスボックス」。オグチボヤはホヤの仲間だが食べられない(右下)。



世界最大のカニ、タカアシガニ(左)。薄っぺらな体と、下に大きく張り出したお腹が特徴のギンカガミ(右)も、水族館での展示は非常に珍しい。「ふくしまの海～大陸棚への道～」コーナーで見ることができる。



無脊椎動物の中でも知能が高い部類に属するコウイカの交接(交尾)。求愛の際の皮膚の色の変化なども間近で観察できる。

江戸時代から続く捕鯨の歴史があり、  
 “鯨の町”として知られる和歌山県の太地町。  
 「太地町立くじらの博物館」には7種類、  
 約40頭のクジラやイルカが飼育、展示されている。  
 クジラと対面しながらの餌やり体験や、  
 自然の入り江を利用したクジラショー、  
 夏にはクジラと泳げる海水浴場も大人気だ。  
 生き物と人とがとても近い、  
 大自然の中の博物館を訪ねた。

巨大なオキゴンドウが水しぶきをあげながらジャンプ！  
 目の前の入り江で行なわれるクジラショーは大迫力。



# 捕鯨の町で クジラに会う。

太地町立  
くじらの博物館

## 迫力満点のクジラショー

紀伊半島の南端からやや東側。熊野灘に面した和歌山県東牟婁郡太地町は、リアス式の海岸線が続く半島形の小さな町。那智山へと続く緑豊かな丘陵地を擁した風光明媚な地である。「太地町立くじらの博物館」はそんな大自然の中にあり、ここに来なければ味わえない驚きと感動に満ちている。

飼育されているクジラとイルカは7



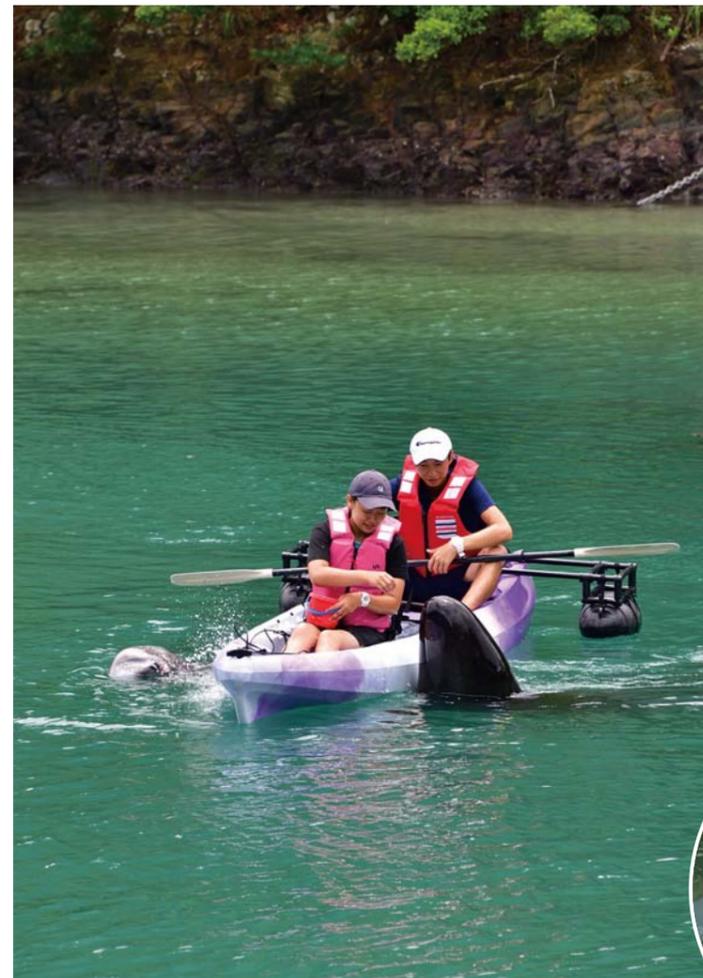
クジラやイルカと触れ合える自然の入り江は約210m×50m。手前はシロナガスクジラの全身骨格標本、奥の白い建物は海洋水族館マリナリウム。

種類、約40頭。一般に、同じ鯨偶蹄目でも、歯が生えているクジラの中で成長しても4mに満たない種類がイルカと呼ばれている。見どころの一つが、自然の入り江で行なわれるクジラショーだろう。オキゴンドウとハナゴンドウの巨体をくねらせたダイナミックなジャンプは圧巻。その豪快な水しぶきを浴びた観客も思わず笑顔で拍手を送る。水面に半身を出して連続回転したり、ヒレをパシャパシャと打ち付けたりと、愛嬌たっぷりの姿にも癒される。入り江にある棧橋では、バンドウイルカとハナゴンドウに餌をやることもできる。小魚が入ったバケツを持って行くと、その姿を見つけたクジラが「待ちました」とばかりに口を開けておねだり。あまりの大きさに最初は驚いて腰が引けるが、クジラ1頭を一人占めできる醍醐味はよそでは味わえない。さらに、カヤックに乗って給餌できる



イルカショーはテンポが良く、動きにキレがある。トレーナーが合図を送った瞬間、カマイルカ2頭が尾ビレをキュッと反らすパフォーマンスに観客も感激。

カヤックアドベンチャーなどもあり、自然の海ならではの触れ合いをたっぷり楽しむことができる。気がつけば、巨大なクジラがかわいく見えてくる。一方、プールでのイルカショーも見応え十分だ。トレーナー2人が気合を入れて合図を送ると、バンドウイルカ2頭とカマイルカ2頭が全力でそれに応える。ジャンプも見事だが、プールサイドに上がったカマイルカがトレーナーのサインで尾ビレをキュッと90



カヤックを漕いでクジラに餌を与えることができるのも、海ならではの。カヤックアドベンチャーは10分間で1人1,000円。



クジラショーは1日4回。ゴンドウクジラ4頭がジャンプやヒレ打ち、鳴き声の合唱などを披露してくれる。オキゴンドウ（一番左）はその見た目から「キュウリゴンドウ」とも言われる。



バンドウイルカ（上）とハナゴンドウへの餌やりは300円。餌をもらえると知っているのも、人を見るとすぐに顔を出す。ハナゴンドウ（左）の白い模様は、仲間同士の喧嘩による切り傷や、かゆく海底の岩にこすりつけた痕で、これが多いほど年齢が高い。

度近く反らす姿に、観覧席のあちこちから「わー」と驚きの声。トレーナーもイルカも気持ちがいいほど動きにキレがある。

## 国内外から研修を受け入れ

ここ「くじらの博物館」は、飼育が難しかったり、珍しかったりする個体を数多く展示していることでも知られる。敷地内にある海洋水族館マリナリウムでは、世界中でもここでしか見られないというスジイルカや、飼育されたものとしてはアメリカの水族館に次いで世界2例目となるアルビノのバンドウイルカ、体に白い斑点模様があるマダライルカなどに出会うことができる。それら貴重な種類が集まるのは、400年にわたる捕鯨の歴史と、クジラやイルカを入手しやすいという土地柄によるもの。太地町はいまも県の許可を得て「イルカ追い込み漁業」を行なっていて、その際に偶然捕獲した珍しい個体がここにやって来るのだ。



また、イルカのトレーナーを目指す、国内外からの研修生も多い。近年は各水族館の飼育技術の向上とともに動物の寿命も延び、新人トレーナーが飼育や調教を最初から行なうケースは少ない。ましてや捕獲に関わる機会はないので、貴重な経験や知識を求めて来るというわけだ。「私たちが行なうトレーニングは、動物たちがもともと備えている習性から引き出しているだけ。大事なことは丁寧な行動観察と根気強さ。ただ、イ



飼育員の渡辺友梨絵さんは認定動物看護師の資格も持つ。オキゴンドウのキースとは10年以上の付き合いで、担当トレーナーとしてさまざまな芸を教えた。「弟みたいな存在」だそうで、キースに顔を近づけると挨拶のキス。

ルカは種類や個体によって、その個性はさまざまです。気のつかい方も違います。研修に見えた方にはこちらの経験を惜しみなく伝えますし、情報の交換も積極的に行なっています」と語るのは、飼育員の渡辺友梨絵さん。個体差もあるが、イルカやクジラは、野生の状態から来て、飼育員を信頼してコンタクトが取れるようになるまでにしばらく時間がかかり、人や餌、環境に慣れるまで約1年の期間を要するという。



バンドウイルカは、ジャンプしてボールにタッチする芸も見せてくれる(左上)。ショーの後はプールサイドでイルカにタッチでき、記念写真も撮ってくれる(左下)。カマイルカ2頭が呼吸を合わせて華麗なジャンプ(右)。



## クジラとの対話

子どもの頃から大の動物好きだったという渡辺さん。トレーナーを目指したきっかけは、家族旅行で訪れた「鴨川シーワールド」で見たシャチのショー。「小さい頃からの夢がかなって10年以上。天職だと思っています」。

そんな渡辺さんにクジラの魅力を伺うと「深い付き合いができることです。イルカ以上に社会性が強くて、彼らは餌が全てではありません。気に入らないことは訴えてきますし、人の力量も見ています。その上でうまくリードしなくてはいけないので、気をつかいますし、奥が深いですね」。ジャンプなどの芸の後に与える餌の小魚は数が決められていて、出来が良ければ3匹か4匹、普通なら2匹、あまり良くない時は1匹だそう。その数をしっかり数えているクジラもいて、芸の評価が思いのほか低いと怒ったり、機嫌を損ねたりすることもあるのだとか。「できるだけ素直な子に育てようと思っている



博物館の天井からつるされたセミクジラの実物大模型。背後の勢子舟(江戸時代の手漕ぎの捕鯨船)の大きさと比べると、捕鯨がいかに大掛かりで命がけだったかわかる。

のですが……」と渡辺さんは笑う。

そんなクジラとトレーナーの無言の心理戦を想像しながらショーを楽しむのも面白いかもしれない。

## クジラを身近に感じる

「博物館にはクジラの骨格標本などもあります。生体と併せて展示している施設は、他にないのではないのでしょうか」とのこと。そもそも「くじらの博物館」は捕鯨の歴史を後世に伝えるために50年前の1969(昭和44)年に開設。水族館の設立や、ショーなどを行なう



クジラを発見する「山見」が行なわれた燈明崎。奥にあるのは紀州藩が常設した燈明台(灯台)を復元したもの。梶取崎にも同様の「山見」の跡がある。いずれも熊野灘を一望できる。

ようになったのはその後だ。館内には、胸ビレや下顎骨、内臓などのほか、捕鯨用具など、1,000点にも及ぶ貴重な資料が展示されている。ショーと合わせてじっくり見学してはいかがだろう。

また、近隣には古式捕鯨の文化をいまに残す観光スポットも多い。燈明崎や梶取崎はその昔、クジラがやって来るのを見張る「山見」が行なわれていた場所。クジラの潮吹きを発見したら狼煙を上げたり、ほら貝を吹いたりして、海上で待機している船団に合図を送ったという。熊野灘を一望できる絶景ポイントで、吉野熊野国立公園にも指定されている。さらに、太地町の旅館やレストランではクジラ料理に舌鼓を打つこともできる。

「くじらの博物館」はリピーター客も多い。渡辺さんは「しっかり個体識別されている方もいらっしゃいます。『前は修学旅行で来たけど、今日は子どもと一緒にです』と、昔の情報を教えてください方もいて、うれしく思います」と顔をほころばせる。飼育員と気軽に話ができる点もこの魅力だろう。

「捕鯨の町」太地町で江戸時代からの時の流れを感じつつ、自然の中で人とクジラの距離の近さを体感してみたいだろうか。



海洋水族館マリナリウムのトンネル水槽。全身が白いアルビノのバンドウイルカのほか、世界でここしか展示が見られないスジイルカ、斑点模様のあるマダライルカなど、貴重なイルカを見ることができる。



マリナリウムは、博物館開設の2年後の1971年にオープン。約100種、1,000点の海の生き物を展示している(左)。マリナリウムから入り江を見るときつつかの生け簀があり、今年3月と6月に生まれた赤ちゃんイルカや、研修生が指導を受ける姿も見られた(右)。



●太地町立くじらの博物館  
和歌山県東牟婁郡太地町太地2934-2/☎0735-59-2400/8:30~17:00/年中無休  
※ショーやイベントは、天候・動物の体調などにより中止・変更となる場合あり

# 全国おすすめの水族館

四方を海に囲まれている日本には100を超える水族館があり、人口あたりの水族館数が世界一で、展示生物や飼育技術、ショーなどのイベントの完成度も、世界トップクラスだといわれています。そんな“水族館大国”である日本の水族館のうち、編集室が選んだ、いませひ訪れたい水族館を紹介します。

\*営業時間、休館日については水族館に直接問い合わせるか、ホームページでご確認ください。



## 1 おんねゆ温泉 北の大地の水族館 山の水族館

日本最大の淡水魚であるイトウが、日本で最多40匹も飼育されています。冬場は日本有数の寒さを利用して、凍った川の下を泳ぐ魚たちの様子を見ることができると、北海道の自然を感じることができます。

北海道北見市留辺瀨町松山1番地4  
☎0157-45-2223

●営業時間/8:30~17:00(夏季)  
9:00~16:30(冬季)  
●休館日/4月8日~14日、12月26日~1月1日  
<http://onneyu-aq.com/>

## 2 鶴岡市加茂水族館

「クラゲドリーム館」の愛称でも親しまれている、クラゲの展示で知られる水族館(本誌8~11ページで紹介)。

山形県鶴岡市今泉字大久保657-1  
<https://kamo-kurage.jp/>

## 3 アクアマリンふくしま

東北最大級の体験型水族館(本誌12~15ページで紹介)。

福島県いわき市小名浜辰巳町50  
<https://www.aquamarine.or.jp/>

## 4 鴨川シーワールド

「シャチパフォーマンス」は有名ですが、そのほかにも「イルカパフォーマンス」「ペルーガパフォーマンス」「アシカパフォーマンス」と4つのショーが楽しめます。イベントが盛りだくさんなのも楽しく、おすすめです。

千葉県鴨川市東町1464-18  
☎04-7093-4803  
●営業時間/9:00~17:00(時期により変更あり)  
●休館日/不定期(館内整備のため)  
<http://www.kamogawa-seaworld.jp/>



▲マクセル アクアパーク品川

## 5 すみだ水族館

魅力のひとつは、巨大なネイチャーアクアリウム。幻想的な水草の森の中を色鮮やかな熱帯魚が泳ぎまわります。日本最大級の金魚展示ゾーンは、金魚好きでなくともおすすめです。

東京都墨田区押上1丁目1番2号  
東京スカイツリータウン・ソラマチ5F・6F  
☎03-5619-1821

●営業時間/9:00~21:00(季節により変動あり)  
●休館日/年中無休(メンテナンス休館あり)  
<http://www.sumida-aquarium.com/>

## 6 サンシャイン水族館

“天空のオアシス”をコンセプトに掲げた都市型高層水族館(本誌4~7ページで紹介)。

東京都豊島区東池袋3丁目1-3  
☎03-3989-3466

●営業時間/10:00~21:00(3月21日~9月24日)  
10:00~18:00(9月25日~3月20日)  
●休館日/年中無休  
<http://www.sunshinecity.co.jp/aquarium/>



## 7 マクセル アクアパーク品川

必見は直径約25mのプールを囲む円形スタジアムで行なわれるイルカショーです。ウォーターカーテンや照明、プロジェクションマッピングや音楽などで演出され、技を披露するものとはまた違った新しいエンターテインメントです。昼、夜で異なるプログラムもおすすめです。

東京都港区高輪4-10-30(品川プリンスホテル内)  
☎03-5421-1111(音声ガイドダンス)  
●営業時間/10:00~22:00(時期により変動あり)  
●休館日/年中無休(貸切営業等により入場できない場合あり)  
<http://www.aqua-park.jp/aqua/>

## 8 新江の島水族館

「相模湾大水槽」は、自然のままの環境に近づけるように絶えず波を発生させています。岩場にぶつかる波の音を聞きながら、波の下で雄大に泳ぐ魚たちの生態や水深に応じて魚たちの種類が変わっていく様子、相模湾の岩礁や沖の様子を目の前で観察することができます。

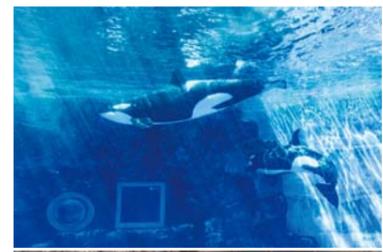
神奈川県藤沢市片瀬海岸2-19-1  
☎0466-29-9960

●営業時間/9:00~17:00(時期により変動あり)  
●休館日/年中無休(安全点検、気象状況等により臨時休館する場合あり)  
<http://www.enosui.com/>

## 9 名古屋港水族館

日本最大級の水族館。屋外には世界最大級の野外水槽があり、シャチやイルカのダイナミックなショーを見ることができます。中でも人気の高いイベントが、「マイワシのトルネード」です。マイワシの群れが音楽と照明で演出され、キラキラと輝く光景はとても美しくおすすめです。

名古屋港区港町1番3号  
☎052-654-7080(代)  
●営業時間/9:30~17:30(冬期は~17:00)  
9:30~20:00(GW、夏休み)  
●休館日/月曜日 ※祝日の場合は翌日(GW・7月~9月・年末年始・春休みは無休。冬期にメンテナンス休館あり)  
<http://www.nagoyaaqua.jp/>



▲名古屋港水族館



▲世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ



## 10 世界淡水魚園水族館 アクア・トトぎふ

世界最大級の淡水魚水族館です。長良川の展示では、源流にはじまる清流感を十分に体感することができ、世界の見慣れない巨大な淡水魚の姿に目を奪われます。淡水水槽はどれも透明度が高く、海水魚の水族館ではなかなか体験することができないレベルです。

岐阜県各務原市川島笠田町1453  
☎0586-89-8200

●営業時間/9:30~17:00(土日祝日は~18:00)  
●休館日/年中無休(臨時休館あり)  
<http://aquatotto.com/>

## 11 太地町立くじらの博物館

クジラの専門博物館で、クジラとふれあえる多彩なイベントがあります(本誌16~19ページで紹介)。

和歌山県東牟婁郡太地町太地2934-2  
<http://www.kujirakan.jp/>

## 12 串本海中公園

必見は海中展望塔。海の中を歩いて鑑賞することができます。ウミガメパークでは、たくさんのウミガメたちに出会い、餌やりもできます。また、子ガメタッチング体験では、指で触れるだけではなく手にとることもできます。

和歌山県東牟婁郡串本町有田1157  
☎0735-62-1122  
●営業時間/9:00~16:30  
●休館日/年中無休(夏休み期間・GW・年末年始・5月~10月の連休等は営業時間の延長あり)  
<http://www.kushimoto.co.jp/>



▲串本海中公園

## 13 ニフレル

見どころは7つのテーマに分かれた展示スペース。その1つ「いろにふれる」では、ヒーリング音楽が流れ、色が変化する部屋の中で、小型の円形水槽に色とりどりの魚やエビが泳ぎまわります。生き物たちをより魅力的に見せる空間づくりがされている最新型水族館です。

大阪府吹田市千里万博公園2-1 EXPOCITY内  
☎0570-022060(ナビダイヤル)  
●営業時間/10:00~20:00(季節により変更あり)  
●休館日/年中無休(設備定期点検のための臨時休業あり)  
<https://www.nifrel.jp/>



▲ニフレル

## 14 マリホ水族館

瀬戸内の海、溪流、クラゲ、サンゴ礁の海など、6つのゾーンで最先端の水塊展示が見られます。大人900円(年間パスポート1,800円)も魅力です。

広島市西区観音新町4丁目14-35  
☎082-942-0001  
●営業時間/10:00~20:00(4月~10月)  
10:00~17:00(11月~3月)  
●休館日/マリナーホップの休館日に準ずる  
<http://mariho-aquarium.com/>



▲九十九島水族館 海きらら

## 15 九十九島水族館 海きらら

「九十九島湾大水槽」には太陽光がキラキラと降り注ぎ、回遊魚やエイ、群れをつくるイワシに出会うことができます。また、飛び出してきそうなほど小さなプールで行なうイルカのショーは迫力満点。特に日本初の特技、「イルカ同士のジャンピングキャッチボール」は必見です。

長崎県佐世保市鹿子前町1008番地  
☎0956-28-4187  
●営業時間/9:00~18:00(3月~10月)  
9:00~17:00(11月~2月)  
●休館日/年中無休  
<https://www.pearlsea.jp/umikirara/>

## 16 長崎ペンギン水族館

全18種類のペンギンのうち、9種類約180羽が飼育されている水族館です。深さ4m、国内最大級のペンギンプールでは亜南極ペンギンが泳ぎまわり、「ふれあいペンギンビーチ」では、隣接した海を泳ぎまわる姿も見ることができます。

長崎市宿町3番地16  
☎095-838-3131  
●営業時間/9:00~17:00(8月は~18:00)  
●休館日/年中無休  
<http://penguin-aqua.jp/>



▲長崎ペンギン水族館

# 株式会社愛知レジン

お客様の悩みや要望を聞き、最適な仕様と価格を提案して、培った知識と技術で耐久性のある床をつくっていききたい。そして、お客様の満足と評価を得て、職人の地位を上げていききたいですね。

代表取締役 **今野太郎**



徳川家康の命により、尾張藩主の居城として1612(慶長17)年に建てられた「名古屋城」の天守閣(左)。天守閣とともに国宝に指定され、大戦中に空襲で大部分が焼失した豪華絢爛な本丸御殿(右)が10年かけて復元され、2018年6月8日から一般公開されている。



▲社員の皆様。

愛知県の西部に位置する名古屋市。古くは熱田神宮がある場所として、江戸時代は尾張徳川家の居城・名古屋城の城下町として栄えました。現在は、中部地方の政治・経済・文化の中核を担う都市として発展を続けています。

\* \*

その名古屋市に本社のある株式会社愛知レジンをお訪ねし、代表取締役の今野太郎さんにお話をうかがいました。

■この業界に入ったきっかけをお聞かせください。

●19歳のときに出身地の岡崎市を出て、隣の蒲郡市の塗り床施工の会社に入社したのがきっかけです。その後、名古屋の施工会社に誘われ、職人として働いていました。

■創業はいつでしょうか？

●その施工店を5年ほど勤めたあと、辞めて独立したときです。24歳のころですね。岡崎に戻るのも格好悪いので(笑)、名古屋に残り、創業しました。それが2003(平成15)年5月12日。それからは塗り床工事専門で、おかげさまで、今年創業15周年を迎えました。

■当初のご苦労をお聞かせください。

●直後は仕事は一切ありませんでした。

名古屋のあらゆる塗装店に電話しましたが、すべて門前払いです。これを最後に岡崎に戻ろうと覚悟して連絡したのが、名古屋でトップクラスの塗り床施工会社。そこに、僕が蒲郡で仕事をしたときに営業担当だった方が偶然在社していたのです。その方に声をかけていただいたのがスタートでした。

■法人化のきっかけをお聞かせください。

●創業当初はその塗り床施工会社の下請けがメインでしたが、2009年に法人化したあと、大きく様変わりしました。2008年のリーマンショックがきっかけです。

当時は既存の床の状態がひどくても仕様は決まっていますし、予算もないので「安かろう悪かろう」の施工しかできない状況でした。金額だけの競争で品質の追求はできません。そこで、法人化後、納得できる床に仕上げたいという思いから、自分たちで営業に出ってみました。

■営業にあたって大切にされたことをお聞かせください。

●知名度が低いので、いきなり大手の会社の仕事は請けられませんでした。

そこで発想の転換をしました。歴史は浅くても、それまで蓄積した塗り床施工の知識と技術は大きな武器になります。その知識と技術を伝えることを前面に出すようにしました。お客様の床に関する悩みの原因もすぐに突き止められますし、解消できる対策も提案できます。当社の強みを明確にした技術的な営業です。

## 塗り床の経験と技術をお客様に伝える

■そのことが経営方針につながるのでしょうか？

●塗り床の目的は、お客様が安心でき、安全な生活や作業ができる環境づくりだと思います。「技術と独自性をもって社会の安全を実現していく」という経営理念を掲げています。独自の知識と経験をもとに、きれいで長期的効果のある床をつくりあげるため、適切な材料、必要な膜厚を選定してお客様に提案するという事です。ですから請ける仕事は、直請けか一次下請けがほとんどです。



本社の表札。「それまでは『今野技建』でしたが、法人化の際にみんなで案を出し合い、愛知県で一番になりたいという思いから『愛知レジン』と名付けました。マークにも思いをこめて、Aichiの“A”とResinレジン=樹脂の“R”を組み合わせると山の形にし、右肩上がりで頂点を目指すというイメージを表現しています」(今野社長)。



■まずお客様の要望を聞くということでしょうか？

●実際に使用されるお客様の声を聞くことで、私たちの技術を最大限に発揮できます。売上目標よりも実現したいのは、本物のいい塗り床をお客様に届けることです。古い塗膜を機械で剥離し下地をつくり、最後に化粧を施す。塗り床は本当に素晴らしい技術だと思います。その職人の技術を伝えていきたいですね。

■塗り床施工で大切にされていることをお聞かせください。

●塗り床では下地処理が重要です。古い塗膜はすべて“めくる”という方針で



本社から歩いてすぐの場所にある第二倉庫(左)と、床面ハツリ機、研磨機などのライナックス(右)。ライナックスの保有台数は、塗り床業界では全国ナンバーワンという。

す。ハツリには手間と費用がかかりますが、どのような状態の床でも健全な下地を出すことが、いい塗り床につながると思います。そのための設備投資も積極的に進め、ライナックスの保有台数は、塗り床業界では全国1位です。

## 塗り床工事の評価と職人の地位を上げる

■将来ビジョンをお聞かせください。

●塗り床工事の知名度と職人の地位を上げていきたいですね。それを目指して、「超一貫体制」の方針を掲げています。営業から施工まで、すべて自社で行なうのでコストも抑えられます。さらに塗料(材料)を加えて、従来の一貫体制を超えることで、職人の地位の向上につながると思っています。

■その材料についてお聞かせください。

●当社で開発した「REDCOAT(レッドコート)」です。高性能の塗料シリーズで、大手にもスペックインしています。「RED」は当社のカンパニーカラーの赤ですが、一方で、RはResin=樹脂、EはEngineer=技術者、DはDevelop=開発の組み合わせでもあります。私たち職人の想いのつまった塗料です。今後、どんどん知名度を上げていき

いでですね。  
■ニットクとのお付き合いはいつごろからでしょうか？

●ニットクさんは法人化して初めて当社に来てくれたメーカーさんで、こんな小さな会社を気にかけていただいたという驚きもありました。最初は塗り床材「ユータックE-30」を使わせていただきました。ニットクさんは情報を提供してくれたり、要望を実現してくれたり、なによりも職人の意見を聞いてくれます。塗料を扱う職人を大切にしてくださるメーカーさんです。

■趣味をお聞かせください。

●あえて言うと野球観戦です。元中日ドラゴンズで活躍した今中投手のファンで、縁があって弊社に來社されたこともあります。少年の頃の夢が叶った瞬間でした。歌手では長瀬剛の大ファンです。小学生の時から憧れの存在で、聴いていると元気が出ますし、僕の根源といっても過言ではありません。好きな曲は「STAY DREAM」夢は叶う！(笑)ですね！

■本日はどうもありがとうございました。

## PROFILE

- 株式会社 愛知レジン (東海ニットク・アメニティシステム会員)
- 創業/2003(平成15)年5月
- 資本金/3,000万円
- 代表者/代表取締役 今野太郎
- 所在地/〒454-0921 愛知県名古屋市中川区中郷2丁目5番地 電話(052)351-4611(代) FAX(052)351-4612 HP: http://www.aichi-resin.jp
- 事業所/三河事務所(岡崎市)
- 事業内容/各種合成樹脂塗床工事、防食ライニング工事、ウレタン・FRP防水工事、各種下地処理工事、超速硬化スプレー工事、防護・耐衝撃塗装
- 従業員数/12名



尾張藩2代藩主・徳川光友が、1695(元禄8)年に造営した大曾根屋敷跡の「徳川園」。池泉廻遊式の庭園で、日本の自然景観が凝縮されている。



113(景行天皇43)年創建と伝えられ、三種の神器の一つである草薙剣を祀る「熱田神宮」。「熱田さん」として親しまれ、年間700万人の参拝者が訪れる。



▲本社社屋。

# 株式会社ヌリケン・プラス

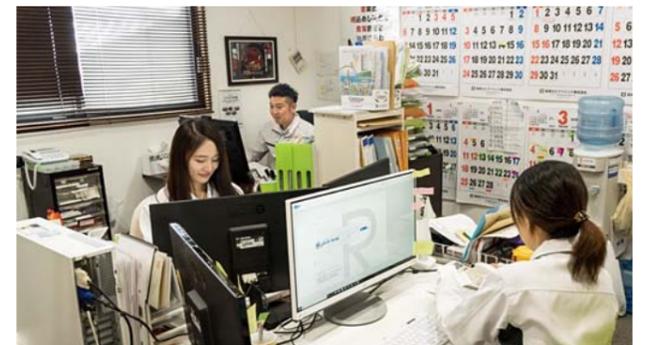


しっかりとした知識と技術で質の高い施工をし、その後の定期点検も欠かさず行ないます。塗装職人が、家をきれいにして守ってくれる、素敵な職業だと思われ、子どもたちの憧れの存在にすることが夢です。

代表取締役 **萩岡幸洋**



豊臣秀吉の命令で殉教した26名のカトリック信者に捧げられるため、1865(元治2)年に建立された「大浦天主堂」(左)。2018年に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」としてユネスコの世界文化遺産に登録された文化財の1つで、国宝にも指定されている。市内には、明治期に着工、1925(大正14)年に完成した日本最大規模のカトリック教会「浦上教会」(上・原爆で破壊され、1959年に再建)もある。



カレンダーに定期点検の年間スケジュールが書き込まれている事務所。「1カ月、3カ月のあとは、1、3、5、7、10年後に全物件を点検します」(萩岡社長)。



本社事務所外観。「独立時は『ヌリケン(塗建)』という屋号でしたが、そこに“色”“強さ”“機能”そして“幸せ”をプラスしたいという思いから、現在の社名にしました」(萩岡社長)。

九州の北西部に位置し、古くから外国への玄関口として発展してきた長崎市。江戸時代は国内唯一の国際貿易港をもつ町として栄え、多くの文化が流入しました。また、広島市とともに、原子爆弾による被爆都市としても知られ、その遺構も多く残っています。

\* \*

その長崎市に本社のある株式会社ヌリケン・プラスをお訪ねし、代表取締役の萩岡幸洋さんにお話をうかがいました。

## ■この業界に入ったきっかけをお聞かせください。

●長崎市内の工事現場の近くを歩いていたところ、養生シートをたたむのを手伝ってほしいと声をかけられました。暇そうに見えたのかもしれませんが(笑)。その方が塗装会社の社長さんで、明日から現場に来ないかと誘われたのがきっかけです。高校を中退してすぐのころで、以来、ずっと続けていますから、塗装にかかわって20年になりますね。

## ■創業されたのはいつでしょうか？

●2004(平成16)年5月、21歳のと

きに独立しました。当初は、お世話になった塗装会社の下請けをしていました。ただ、金額が決まらないままコーサインが出るという現場ばかりで、ほとんど赤字でした。設備投資も必要でしたので、収入は独立前の半分以下に減りました。職人さんへの給与の支払にも苦労する時期が続きました。

## ■お客様のために、下請け受注をすべて断る

### ■会社設立はいつでしょうか？

●2014年です。創業から10年後に法人化することが目標だったので、それを達成した形です。実は、法人化直前に下請けの仕事を全部断りました。実際、ほとんど仕事はなかったため、売上は急激に落ちました。

### ■その理由をお聞かせください。

●下請けの立場では金額を決められず、理想の施工もできないため、くやしい思いをしていました。自分で受注できるようになれば、お客様に直接提案できますし、いい施工も可能になります。現在は100%元請けです。

## ■そのことが経営方針にもつながるのでしょうか？

●質にこだわりたいという思いがあります。その方針を前面に出して、提案のときに塗料や塗装を詳しく説明し、信用を得ていきました。その結果、それまでは新築マンションやアパートなどが中心でしたが、戸建て住宅の直接の受注が多くなりました。とくにここ3年くらいで塗り替えが増えました。

### ■技術には塗料の知識も伴うということでしょうか？

●材料についてわからないことがあればメーカーさんにすぐ聞いていましたし、理解したうえで提案しますので、お客様の不安も減ります。それは下請けの立場ではできなかったことでした。下塗りの選定を間違えたり、仕様を守らずに施工したりすれば、2~3年後には問題が起こります。知識があつてこそその技術です。塗料は半製品ですし、その評価は数年後に決まります。

### ■施工後も定期的にチェックされるのでしょうか？

●点検は竣工後1カ月から実施してい

ます。そのころがお客様がいちばんモヤモヤする時期です。悩みや不安を解消するために、全物件を1カ月後に点検して、要望に対応します。他社はほとんど行っていないと思いますが、お客様の悩みをフォローすることで、その後につながります。

## ■塗装のボランティア団体「塗魂ペインターズ」に参加されているとうかがっていますが……。

●会社設立直前に、ホームページで、僕の理想に近い活動をされている塗装店が「塗魂ペインターズ」に加盟されていることを知り、参加しました。全国規模ですから、ときには100人以上の職人が集まりますので、普通は1週間かかる現場が2日で終わります。そのときに、お客様に泣いて喜ばれ、塗装がこんなに人の役に立つのかと感動しました。塗料や塗装のことを知っていただけますので、業界全体の評価も高まると思います。

## ■お客様のニーズは変わってきているとお感じでしょうか？

●現場調査で初めて会ったお客様から

も、高くてもいい材料でいい施工をしていただきたいという要望が増えています。ニットクさんの屋根用塗料でも「リリーフNADシリコン」よりも「リリーフNADフッ素」がよく出ます。

## ■ニットクとのお付き合いはいつごろからでしょうか？

●個人では使わせていただいていたが、直接お会いしてお付き合いを始めたのはここ最近ですね。いまは主に屋根用塗料でお世話になっています。

## ■塗装業を、子供たちが憧れる職業に

### ■将来ビジョンをお聞かせください。

●売上にこだわっていた時期もありましたが、やはり施工の質を守りながら経営を続けていきたいですね。そのためにも知識をつけるべきだと思います。お客様にとっては、職人がいけば身近な存在です。僕らの提案が間違っていれば、お客様やメーカーさんに迷惑がかかるだけでなく、業界全体の評判が下がります。正しい知識があるから、手間と費用がかかる理由を説明できま

すし、信頼を獲得できます。

## ■知識や技術の向上のために取り組まれていることをお聞かせください。

●材料の説明会には社員を同行させています。また、技術指導を6月からスタートしました。月に1回、技術講習後に試験をしながらステップアップをはかるという、いわば自社の検定試験です。ゆくゆくは長崎市全体の塗装業者が参加するような検定にしたいですね。将来的には、職人を子どもたちが目指すような職業にすることが理想です。

## ■趣味をお聞かせください。

●以前はゴルフやサーフィンをしていましたが、いまは時間がありません。おいしいものを食べるのが楽しみになっていますね。長崎はチャンポンが有名ですが、ほかにもたくさんの味覚があります。ぜひいらしてください。

## ■本日はどうもありがとうございました。

## PROFILE

- 株式会社ヌリケン・プラス (九州ニットク・アメニティシステム会員)
- 創業/2004(平成16)年5月5日
- 資本金/500万円
- 代表者/代表取締役 萩岡幸洋
- 所在地/〒852-8154 長崎市住吉町8番18号
- 電話/(0120)644-448
- FAX/(095)894-1844
- HP: https://nuri-ken.com
- 事業所/長与営業所(長崎県西彼杵郡長与町)
- 事業内容/塗装工事、防水工事
- 従業員数/7名



「グラバー園」にある「旧グラバー住宅」。グラバーは1859(安政6)年の長崎開港と同時に来日したイギリス人で、武器商人として幕末の日本で活躍し、日本の近代化に大きく貢献した。園内には旧リンガー住宅、旧オルト住宅などがあり、歴史的洋風建築に触れることができる。



1945(昭和20)年8月9日に投下された原子爆弾落下中心地付近に設けられた「平和公園」の平和祈念像(左)。近くには「長崎原爆資料館」(上)もあり、原子爆弾の凄惨さを伝えている。



本社事務所前でスタッフと。「当社の女性社員は調査のため現場に出ますし、見積りもできます。塗装をする社員もいます。細やかな仕事ができますので、お客様からも好評です」(萩岡社長)。

●お知らせ  
■第112期「定時株主総会」を開催

6月22日、東京都北区王子の「北とびあ」において、第112期定時株主総会を開催しました。

当日は、梅雨の時期にも関わらず天候に恵まれ、多数の株主の皆様にご出席いただきました。会場前ロビーでは、最新

の自動車用フロアカーペットや各種塗料製品を展示し、ご来場いただいた株主の皆様にご説明するとともに、会場内においては、総会開始までの間、会社紹介のビデオを上映するなど、当社を知っていただくいい機会となりました。

議事につきましては、議長（酒井社長）による第112期の事業・決算内容の報告、決議事項の説明、その後の採決と滞りな

く進行し、議案「剰余金の処分の件」については、期末配当金を1株につき18円（年間で32円）とすることが、多数の賛同を得て承認可決されました。

ご出席、ご協力をいただきました株主の皆様には改めて感謝申し上げますとともに、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



▲会場前の製品展示コーナー



▲議長の酒井社長



総会会場▶

●お知らせ  
■「愛知工場121棟本館」竣工式を開催

2月16日、来賓をお迎えし、「愛知工場121棟本館」の竣工式を、神事を新工場1階、式典を5階カンファレンスルームで執り行ないました。

121棟本館は工場と事務所を包括した

5階建ての建物です。総合事務所が3階、そして、5階には、「ニットクギャラリー」を設けました。新工場のギャラリーはニットクでは一番広く、カットボディを中心に、自動車製品の展示とパネル紹介と、また、塗料製品の紹介があります。ギャラリーを活用することで、取引先様をはじめ皆様に製品の良さをより知っていただけるものと考えています。なお、一般公開はしていません。

愛知工場では、この後も技術棟の移転、第3期工事での新工場棟建設など、再配置計画がしばらく続く予定です。



▲神事



▲ニットクギャラリー



▲新工場内観



▲121棟本館外観



■自動車製品事業本部  
「ATNオートアコースティクス」開所式を開催

5月24日、トヨタ紡織大口工場内にて、「ATNオートアコースティクス株式会社」の開所式を行ないました。

ATN社は、当社とトヨタ紡織、オートニウムの3社の専門的な技術開発力を融合し、トヨタ自動車をはじめとする自動車関係会社に向けた内外装システムのNV評価・解析※、先行開発を行なう合弁会社として設立されました。今後は、自動車メーカーからの信頼を獲得し、評価・解析業務を任せられるよう努力して参ります。

※NVとは、「Noise(騒音)、Vibration(振動)」の略称で、自動車の快適性を測る基準のひとつ。



▲評価設備



▲開所式

●お知らせ  
■「環境・社会報告書2018年版」を発行

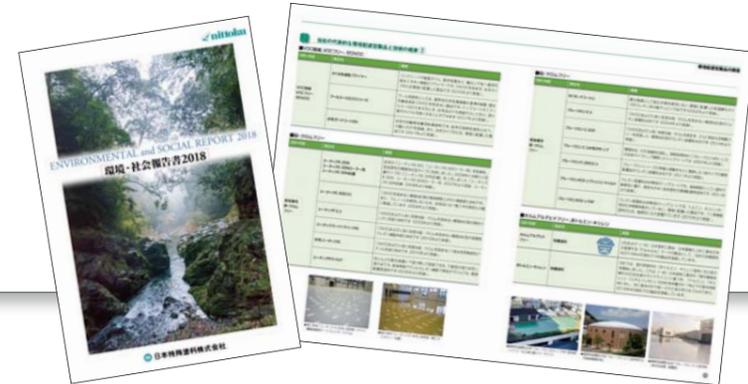
7月に2018年版を発行しました。当社では環境に配慮した企業活動の報告として、『環境・社会報告書』を毎年発行しています。以下の項目について詳細に記載していますのでぜひご覧ください。なお、

この『環境・社会報告書2018年版』は当社のホームページでも公開しています。

- ①環境保全の基本理念、環境方針
- ②コーティング・ケア実施宣言
- ③環境マネジメントシステム ISO 14001

- ④グリーン調達ガイドライン
- ⑤環境配慮型製品の開発（該当製品の紹介）
- ⑥環境負荷低減に対する取り組み
- ⑦化学物質排出削減の取り組み
- ⑧GHS対応SDSの取り組み
- ⑨環境会計
- ⑩品質保証に関する取り組み
- ⑪安全衛生に関する取り組み
- ⑫コンプライアンスに関する取り組み
- ⑬地域社会との係わり

今後も企業としての環境に対する配慮や社会との係わりについて、皆様に適切で正確な情報提供を行なうとともに誌面の充実をはかっていきます。



自動車製品事業本部

## 「第16回 国際オートアフターマーケットEXPO2018」に出展

3月14～16日の3日間、東京ビッグサイトにて「第16回 国際オートアフターマーケットEXPO2018」が開催され、当社も出展しました。

本展示会のテーマは、「オートアフターマーケット業界の活性化」で、275社が出展し来場者数は3日間で15,041名でした。各ブースでは、コーティング剤などのケミカル製品や各種施工ツール、オー

トリペア関連商品などの展示・実演が行なわれ、たいへんな盛況でした。

当社ブースでは、防錆性に優れた塗料「イーディケルM-2000NA」と、耐チップング性に優れた塗料「NTピチューメンワックス」を塗り重ねた実際の車両部品（大型トラックのホイールカバー）を展

示しながら、車体の床裏を跳ね石から守り、冬季の凍結防止剤（塩化カルシウムなど）に耐久性があり、長期にわたって防錆性能を発揮する工法の提案を行ないました。



▲会場



▲大型トラックのホイールカバー等の展示



▲ニットクブース

塗料事業本部

## 「インターモーダルアジア（上海）」に出展

3月20～22日の3日間、中華人民共和国上海市の上海世博覧館（SWECC）にて、コンテナ・一貫輸送業界で世界最大規模の展示会である、「インターモーダルアジア2018」が開催され、当社も参加しました。

当展示会は、コンテナ輸送と物流分野

の関係者が90カ国以上から集まり、グローバルネットワークでの複合輸送に特化した製品、サービス、ソリューションを展示しています。当社は、コンテナ業界大手の中国国際海運集装箱（CIMC）グループで、定温輸送コンテナ（リーファーコンテナ）を製造する、揚州通利冷蔵集装箱



▲会場

箱有限公司（TLC）ブース内に、汚染防止コーティング材「NT Nondusty G」と遮熱技術提案「Thermal reflection technology」を展示しました。「NT Nondusty G」は、40ftコンテナにコーティング部と未コーティング部をゼブラ状に塗り分けて屋外暴露を行なった実物を展示したため、白色定温輸送コンテナを取り扱う食品輸送関係者を中心に多くの反響をいただきました。



▲「NT Non dusty G」を塗り分けたコンテナ（左：塗装あり 右：塗装なし）

塗料事業本部

## 「SEA JAPAN2018」に出展

4月11～13日、東京ビッグサイトで行なわれた「SEA JAPAN2018」に出展しました。SEA JAPANは2年毎に開催される、国内最大の国際海事産業の総合展示会です。ニットクとしては、2016年に続き2回目の出展です。

会場は船舶関連ということもあり国際色豊かで、出展社数580社のうち、221社

が海外からの出展です。3日間で来場者も2万人以上とたいへんな盛況なイベントでした。

今回も、「船舶用防火制振材・オーシャンコンフォート」を主体に、大晃産業との連名で参加しました。展示は、制振材のオーシャンダンパー、オーシャンWに加え、吸音製品として、オーシャンデコ



▲会場

を展示するなど、新たな製品展開もあって、品揃えも豊富でにぎやかな展示となりました。



▲制振材・オーシャンダンパー

▶吸音材・オーシャンデコ



▲大晃産業・ニットクブース

塗料事業本部

## 宮城・仙台「住宅リフォームフェア2018」に出展

1月20日、21日に夢メッセみやぎで開催された、「住宅リフォームフェア2018」に東北ニットク・アメニティシステム会

員の東北ペイント様が出展され、当社も参加しました。ニットクでは、防水材「プルーフロン」、外装材「シルビアセラテ

ィーN」をメインに製品をご紹介。2日間で14,160人の来場があり、住宅のリフォームの相談、見積りのご依頼を多数いただきました。



▲東北ペイント・ニットクブース



新製品紹介

●環境対応型プール用塗料

## 「プールエースECOシリーズ」

プール専用塗料「プールエース」は1980年の発売以来、ご愛顧をいただき、全国のプールで採用されています。このたび、「プールエース」の製品ラインアップに「プールエースECOシリーズ」が加わりましたのでご紹介します。

2003年にシックハウス、シックスクール対策として、厚生労働省・文部科学省が室内揮発性有機化合物(13VOC・6VOC)の濃度指針値を設定して以降、学校施設関連の室内工事に使用される塗料は、指針の13VOC(水性塗料・環境対応塗料)を含まない塗料へシフトしています。

近年、屋外プールの塗装工事に使用する塗料においても、環境対応型塗料のニーズが増えているため、厚生労働省指定13VOC、文科省指定6VOCを含まない環境対応型

塗料「プールエースECOシリーズ」を開発しました。

「プールエースECOシリーズ」は、環境に関心の高い自治体担当者様や、施設管理者様に最適ですので、ぜひご紹介ください。

■プールエースECO PEU-1 RA-RC工法(平成28年度文部科学省 建築改修工事 標準仕様書)

工程	材料の調合	施工方法
下地調整材	プールエースエポキシフィラー	金ゴテ
プライマー	プールエースプライマーRC	刷毛 ローラー
中塗り	プールエースECO#200	刷毛
上塗り	プールエースECO#300	ローラー
上塗り	プールエースECO#300	スプレー
ライン塗り※	プールエースECO#300	刷毛 ローラー

※1~2回、必要に応じ

■特長

- ①厚生労働省指定13VOC、文科省指定6VOCを含まない環境対応型のプール用塗料です。さらに、キシレン、エチルベンゼンも含有していません。

■プールエースECO#300 試験成績表

試験項目	試験方法	試験結果
付着強さ	2mmゴバン目テープテスト	100/100(剥離なし)
耐水性	23℃ 水道水 12カ月間浸漬	異常なし
耐温水性	45℃ 温水 12カ月間浸漬	異常なし
耐寒性	-30℃ 雰囲気 6カ月間	異常なし
耐塩水性	23℃ 5%食塩水 2カ月間浸漬	異常なし
耐海水性	45℃海水 12カ月間浸漬	異常なし
耐アルカリ性	5% 水酸化ナトリウム 2カ月間浸漬	異常なし
耐酸性	5% 塩酸 10日間浸漬	異常なし
耐消毒剤性	次亜塩素酸ナトリウム 1000ppm 40℃ 1カ月間浸漬	異常なし
促進耐候性	サンシャインウエザオメーター 1000時間照射	異常なし
曝露試験	12カ月間	異常なし

②JWWA K 143(水道用コンクリート水槽内面エポキシ樹脂塗装方法)の規格に適合し、プールの水質に悪影響を及

ぼさない塗料です。  
③高密度な3次元架橋により、耐候性、耐薬品性に優れた強靱な塗膜を形成する

ことで、長期にわたって美観を保持します。

④環境対応型塗料の弱点である乾燥性に優れています。

⑤現場での作業性を考慮し、共通シンナー「プールエースECOシンナー」を設定しました。このシンナーは、下塗り、中塗り、上塗りの全ての工程でご使用いただけます。

■荷姿

- プールエースECOプライマーRC  
……A液 12kg、B液 4kg
- プールエースECO金属用プライマーME  
……A液 15kg、B液 3kg
- プールエースECO#200  
……A液 15kg、B液 3kg
- プールエースECO#300  
……A液 12kg・4kg、B液 3kg・1kg
- プールエースECOシンナー……16ℓ

●屋根用超耐久性フッ素樹脂塗料

## 「リリーフNADフッ素」「パラサーモフッ素」

「リリーフNADフッ素」と「パラサーモフッ素」は、住宅用スレート屋根材やセメント瓦、工場などの鋼板屋根など、一般の戸建住宅や工場屋根などの屋根材全般に塗装できる超耐久性フッ素樹脂塗料です※。

「リリーフNADフッ素」は、十数年にわ

たり実績のある「リリーフNADシリコン」をベースにフッ素樹脂を配合し、さらにラジカル捕捉剤のHALSや、劣化の要因となる有害な紫外線をカットするUVAを組み込むことで、超耐候性を実現しました。

また、遮熱性能をプラスした「パラサ

ーモフッ素」もラインアップし、近年の省エネ意識の高まりによる遮熱塗料の需要に応えました。

塗装作業性は、実績のある「リリーフNADシリコン」と同様であるため、通常の施工で良好な塗膜性能を発揮するように設計されています。ユーザーの価値観が多様になる中、高付加価値を求めるユーザー様向けに最適な塗料です。

※下塗りに「エポラオールプライマー」を使用することにより、屋根材全般に塗装できます。

■特長

- ①高耐候フッ素樹脂、HALS、UVAの相乗効果で抜群の超耐候性を発揮します。
- ②高光沢な色彩で、屋根を美しく彩ります。
- ③さまざまな屋根材に塗装できます。
- ④優れた防カビ、防藻性を持つ特殊薬剤を配合。微生物の発生を抑えます。



▲販促用カタログ

- ⑤弱溶剤系のため、新規塗装にも塗り替えにも幅広く対応します。
- ⑥有害な鉛やクロムを配合せず、人や環境に与える影響が少ない環境配慮型の塗料です。
- ⑦優れた遮熱性能を発揮します(「パラサーモフッ素」のみ)。

■一般物性 試験結果

試験項目	試験方法	試験結果
光沢	60度 鏡面反射率 ガラス板上	85以上
付着強度	建研引張り試験機	312.5N/cm(基材破壊)
耐水性	水道水 7日間浸漬	異常なし
	水道水 7日間浸漬後 ゴバン目 5mm×5mm テープ試験	25/25
耐温水性	60℃温水浸漬 7日間浸漬	異常なし
	60℃温水浸漬7日間浸漬後 ゴバン目 5mm×5mm テープ試験	25/25
寒熱サイクルテスト	JIS A 6909(温冷繰り返し) 水中18時間→-20℃×3時間→50℃×3時間 を1サイクルとし、これを10サイクル実施	異常なし
凍結融解試験	自社試験法 水中浸漬にて試験 -20℃×4時間→20℃×4時間 200サイクル	異常なし
促進耐候性	キセノンウエザオメーター 2500時間	光沢保持率90%以上

■荷姿

- リリーフNADフッ素 A液……14kg
- リリーフNADフッ素 B液……2kg
- パラサーモフッ素 A液……14kg
- パラサーモフッ素 B液……2kg
- 塗料用シンナーA……16ℓ



▲「パラサーモフッ素」採用例(山形「福祉の里めぐみ」)

## お知らせ 「投資家向けの決算説明会」を開催

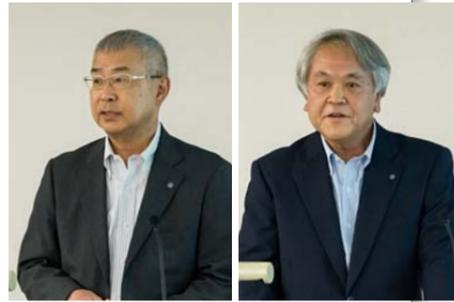
6月7日、東京都中央区の「日本証券アナリスト協会」会議室において、第112期決算説明会を開催しました。

機関投資家、証券アナリストやマスコミの方を対象とした決算説明会は今年で4回目となりましたが、昨年引き続き多



▲説明会

くの皆様にご出席をいただきました。説明会では、酒井社長、田谷専務より第112期決算と第113期計画のポイント、当社の事業概要、今後の成長戦略などについてご説明しました。参加いただいた皆様より、愛知工場で生産が本格化するフロアカーペット等、新規部品の販売状況や合弁会社「ATNオートアコースティクス社」について、また、塗料事業の今後の成長戦略等についてなど、多くのご質問を受け、当社グループの事業に対する注目度の高まりを肌で感じることができました。実施したアンケートでは、「中長期的



▲酒井社長の説明

▲田谷専務の説明

な事業の展望をより詳しく知りたい」といったご要望等もいただき、当社としても、より一層投資家の皆様との対話の充実に努めて参りたいと考えています。なお、説明会で使用した資料については、当社ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

## 塗料事業本部 防火材料等認定塗料のご紹介

4製品がこのたび新たに防火材料等塗料として、認定を受けましたのでご紹介いたします。

●合成樹脂エマルジョンペイント  
「NTキェウオンコートエコ」  
「シルビアノキクリーン」

●つや有合成樹脂エマルジョンペイント  
「シルビアセラティーン」  
「シルビア1液ハイブリッドセラ」

### 防火材料等塗料認定とは

防火材料の認定基材に塗装することを条件とし、その塗料が基材と同等の防火性能を有すると国土交通省が認定するものです(NM-8585塗料塗装/不燃材料・QM-9816塗料塗装/準不燃材料・RM-9364塗料塗装/難燃材料)。詳しくはお問い合わせください。

## ニットクの DIYグッズ

### 「吸音デコ」

「防音くん」ブランドで展開する建築分野向けの防音対策商品の中から、防音くん「吸音デコ」をご紹介します。

「吸音デコ」は室内の反響音をコントロールする「装飾パネル」です。音楽を再生したときに音が割れる、会話が聞こえない



### ニットクの防音材シリーズ

## 防音くん

日本特殊塗料はこれまで、自動車用防音材のバイオニアとして防音・騒音対策技術を蓄積してきました。この技術を建築分野に生かした製品が「防音くん」シリーズです。ニットクは、「防音くん」シリーズを通して、快適な住まいづくりに貢献します。

くない、なんとなくざわざわして落ち着かない——。このような現象が起こる部屋があります。その原因の多くは、室内の吸音力不足です。防音くん「吸音デコ」は吸音効果により、室内の音の反響を抑制することで、室内の音環境を大幅に改善。音楽やテレビを鑑賞する際にも、臨場感あふれる音響を実現します。また、隣の部屋からの通過音を低減する効果も期待できます。

ニットクでは、DIY商品を扱う部署が

あり、ホームセンターなどのほか、インターネットでも販売しています。

### ■特長

- ①1枚0.5kgと軽量ですので、壁面に簡単に貼り付けられます。
- ②7種類のカラーバリエーションを用意。色を組み合わせることもでき、壁面を美しく彩ります。

### ■用途

- リビング、寝室、オーディオルーム、ホームシアター、会議室、応接室、楽器練習室

### ■荷姿

- 寸法：400mm×400mm×厚み38mm
- 重量：0.5kg/枚
- 梱包：6枚/箱

※枚数によって効果は異なります。

●お問い合わせ  
ニットクDIYショップ  
☎ 0120-989-445

ニットクDIYショップ  <http://www.nittokudiyshop.net/>



※イラストはイメージです。

## 街を彩るニットクの製品



■BSG海洋センタープール躯体塗装工事(秋田)  
プール用塗料「プールエース」一般用プール/420㎡  
プール用塗料「プールエース」幼児用プール/90㎡  
施工/有共立塗装



■えさし藤原の郷 厨房(岩手)  
塗り床材「ユータックコンプリート」  
CPM-3N工法/368㎡  
建設/佐藤建設(株)  
施工/北陽塗装



■(株)北陵製作所(岩手)  
万能プライマー「エポラオールプライマー」遮熱ホワイト+  
中空/バレン配合屋根用遮熱塗料「パラサーモシールド」+  
屋根用遮熱塗料「スーパーパラサーモシールドS」/1,500㎡  
建設/有戸澤組  
施工/城西塗装



■南陽ハイジアパーク塗装工事南陽市(山形)  
プール用塗料「プールエース」鋼製プール標準仕様/820㎡  
施工/樹大三美装

# 街を彩るニットの製品



■(仮称)ヨークベニマル金屋店新築工事(福島)  
塗り床材「ユータックオリゴマー」/250㎡  
建設/前田建設工業(株)東北支店  
施工/㈱ワタナベ建築



■三万石第一工場改修工事(福島)  
屋根用遮熱塗料「パラサーモシリコン」/1,651.1㎡  
建設/佐藤興業(株)  
施工/㈱ワタナベ建築



■佛光山法水寺新築工事(群馬)  
建築外装用塗料「シルビアU」/5,000㎡  
設計/㈱楠山設計  
施工/中嶋塗装工事(株)



■神奈川県総合防災センターヘリポート床防塵塗装等工事(神奈川)  
塗り床材「ユータックRマイルド」コーティング防汚工法/5,603㎡  
建設/窪塗装工業(株)  
施工/小田塗装工業(株)



■サーティーフォーHotels北里大学前(神奈川)  
外壁タイル改修工法「タイルレジスト」/800㎡  
中空バルーン配合屋根用遮熱塗料「パラサーモシールド」/100㎡  
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」X-2工法/400㎡  
建設/㈱サーティーフォー  
施工/㈱アヤノ塗装



■平成29年度桐生地方卸売市場屋根塗装改修工事(群馬)  
金属屋根用塗料「ピチューロンシルバー」/8,000㎡  
建設/㈱峯岸建工  
施工/㈱板通



■三田川小学校プール塗装工事(埼玉)  
プール用塗料「プールエース#300」/420㎡  
建設/㈱リーサン堂  
施工/㈱日本アステック



■ホテルアイコットI・II改修工事(静岡)  
屋根用塗料「リリーフNADフッ素」/6538.3㎡  
施工/㈱戸川塗装工芸



■某製菓菓子製造会社新築工事(愛知)  
塗り床材「ユータックコンプリート」CPS-3F/180㎡  
塗り床材「ユータックコンプリート」CPL-6N/80㎡  
塗り床材「ユータックE-30N」/150㎡  
建設/澤崎建設(株)  
施工/安全防水工事(株)



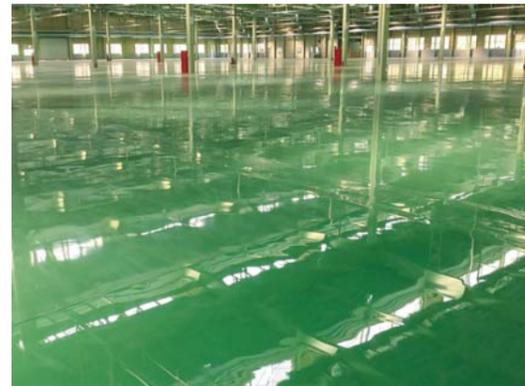
■安城市体育館大規模改修工事に伴うアリーナ観覧席塗り床工事(愛知)  
塗り床材「ユータックスーパーハード」+  
塗り床材「ユータックS」/1,200㎡  
設計/安城市  
建設/㈱クサカ  
施工/㈱竹内塗装(株)、小田建塗工業(株)



■東京ドームローラースケートアリーナ(東京)  
塗り床材「ユータックR」コーティング工法/約1,000㎡  
施工/㈱安田塗装



■調布市立神代中学校北校舎屋上防水ほか改修工事(東京)  
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコ」X-2/1,600㎡  
建築用塗膜防水材「ブルーフロンエコ」立上り/200㎡  
建設/㈱西野建設



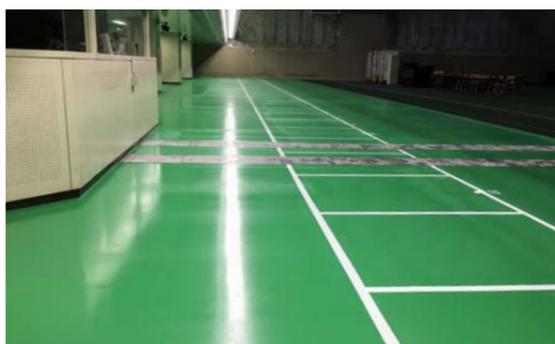
■オティックス蒲郡工場(愛知)  
塗り床材「ユータックE-30N」/12,000㎡  
建設/山旺建設(株)  
施工/ナガ工塗装(株)、小田建塗工業(株)



■松阪市某工場(三重)  
塗り床材「ユータッククリーンE厚膜」/391㎡  
施工/ライニング技術工業(株)



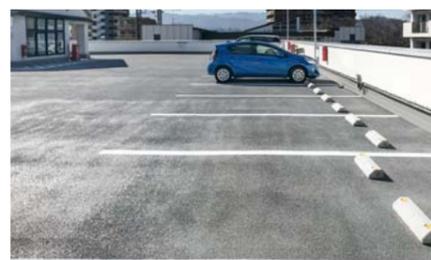
■熱田小児科クリニック(三重)  
建築外装用ハイブリッド無機塗料「シルビアセラティーンN」  
/500㎡  
屋根用遮熱塗料「パラサーモフッ素」/150㎡  
屋根用塗料「リリーフNADフッ素」/150㎡  
施工/㈱土谷塗装工業所



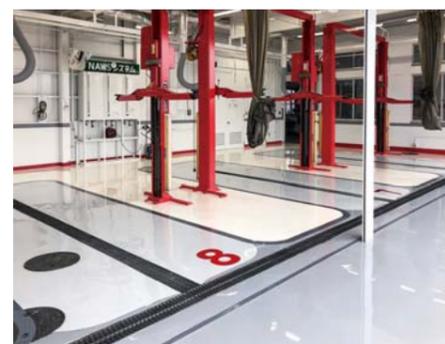
■警視庁(某)施設(東京)  
塗り床材「ユータックFエコ」流し展べ防汚FT工法/1,000㎡  
建設/㈱タムラコーポレーション



■市営中野島多摩川住宅(神奈川)  
建築用塗膜防水材「ブルーフロンバリュー」X-2工法/800㎡  
施工/㈱グラニット



■小田急マルシェ座間屋上駐車場(神奈川)  
超速硬化塗膜防水材(スプレータイプ)  
「NTスプレータイプH」NC工法/1,318㎡  
建設/㈱ジェック  
施工/㈱ナカムラ



■自動車ディーラー作業エリア(三重)  
塗り床材「ユータックE-30N」/530㎡  
施工/ライニング技術工業(株)



■給食センター(徳島)  
塗り床材「ユータックE-30N抗菌」ハード流し展べ防汚工法  
(2.0mm)/1,932㎡  
塗り床材「ユータックE-30N」ハード流し展べ防汚工法  
(2.0mm)/52.7㎡  
塗り床材「ユータックコンプリートCPS-3F工法」/135㎡

# 街を彩るニットクの製品



■某小学校プール給排水設備改修工事(岡山)  
プール用塗料「プールエースECO」PEU-1 RA-RC/686㎡  
(下地調整材 NTエポキシ速乾フィラー)  
建設/㈱プレヴァン  
施工/㈱ナルミ



▼施工後 施工前  
■ビル外壁改修工事および屋上駐車場防水改修工事(広島)  
超速硬化塗膜防水材(スプレータイプ)「NTスプレータイプH」駐車場防水工法/506.5㎡  
(スロープ部ユータックスーパーFハード複合防滑仕上げ)  
建設/㈱テクシード  
施工/㈱ビルドウェザー



▲施工前  
▼施工後



■名瀬運動公園50mプール床改修工事(鹿児島)  
プール用塗料「プールエース#300」PEU-1 RA-RC工法床部コンクリート面/1,050㎡  
プール用塗料「プールエース#300」PEU-1 RA-E工法立上り部ステンレス面/280㎡  
建設/㈱有村防水  
施工/㈱有村防水



■奄美市名瀬・住用地区学校給食センター新築工事1工区、2工区(鹿児島)  
塗り床材「ユータックコンプリート」CPS-3F工法/1,200㎡  
塗り床材「ユータックコンプリート」CPMS-6F工法/10㎡  
建設/伊藤・ストーク 特定建設工事共同企業体(1工区)  
吉田・政 特定建設工事共同企業体(2工区)  
施工/㈱有村防水



■某球場コンコース塗膜防水改修工事(広島)  
超速硬化塗膜防水材(スプレータイプ)「NTスプレータイプS」NF-DSH25UTS工法/3,905㎡  
超速硬化塗膜防水材(スプレータイプ)「NTスプレータイプS」NF-DSH21UTS立上り工法/67㎡  
施工/㈱アビチ



■㈱ファーストリテイリング(山口)  
建築用塗膜防水材「ブルーフロン(リユール)」X-2工法/500㎡  
施工/オセオ防水工業(株)



■福岡県久留米市内某展示場屋根改修工事(福岡)  
万能プライマー「エポラオールプライマー」遮熱ホワイト+  
屋根用塗料「リリーフNADシリコン」ライトグレー/800㎡



■上箇邸塗り替え工事(鹿児島)  
建築外装用塗料「シルビアンADフッ素」/150.5㎡  
屋根用遮熱塗料「パラサーモフッ素」/75.3㎡  
設計/㈱ニシイ  
施工/㈱ニシイ



■国分西保育園新築工事(鹿児島)  
建築用塗膜防水材「ブルーフロン」PSN-E60FT工法/307㎡  
施工/南日本化成(株)



■イーストサンライズ外壁改修工事(鹿児島)  
紫外線カット上塗保護クリアー塗料「シルビアUVカットシリコンクリアー」/310.9㎡  
設計/㈱ニシイ  
施工/㈱ニシイ



■㈱森山鉄工(福岡)  
屋根：非鉄金属屋根塗り替え仕様  
中空バルーン配合屋根用遮熱塗料「パラサーモシールド」中塗+  
屋根用遮熱塗料「パラサーモシリコン」/1,100㎡  
外壁：建築外装用断熱・遮熱塗料「NTダンネツベース」+外壁用  
遮熱塗料「水性パラサーモ外壁用」/200㎡  
施工/㈱イケノウエ塗装



■アバンセ屋上防水改修工事1工区、2工区(佐賀)  
建築用塗膜防水材「ブルーフロン」PK-V30G工法/1,500㎡  
施工/㈱野口装建、㈱フジタ工業



■諫早新野球場スタンド(長崎)  
超速硬化塗膜防水材(スプレータイプ)「NTスプレータイプS」クッション工法/400㎡  
施工/㈱シンテック



■コーポ仲本改修工事(沖縄)  
建築外装用ハイブリッド無機塗料「シルビアセラティール」ウールローラー工法/1,364.2㎡  
建設/㈱オキナワ技研  
施工/㈱オキナワ技研



■㈱イーエーシー屋上防水改修工事(沖縄)  
建築用塗膜防水材「ブルーフロン(リユール)」X-1工法/571.8㎡  
建設/㈱オキナワ技研  
施工/㈱オキナワ技研



■Urban Life Heart改修工事(沖縄)  
建築外装用ハイブリッド無機塗料「シルビアセラティール」ウールローラー工法/2,836.6㎡  
建設/㈱オキナワ技研  
施工/㈱オキナワ技研



■別府市内某病院屋上防水改修工事(大分)  
建築用塗膜防水材「ブルーフロン」X-1工法  
「ブルーフロンプライマー-S、ブルーフロンNT-FタックシートS、ブルーフロン(リユール)、ブルーフロンGRトップ」/700㎡



▲施工前



■あきづきクリニック(宮崎)  
建築用塗膜防水材「ブルーフロン」X-1工法/263.6㎡  
建築用塗膜防水材「ブルーフロン」立上り/65.2㎡  
施工/㈱協建



■高良第二マンション改修工事(沖縄)  
建築外装用ハイブリッド無機塗料「シルビアセラティール」ウールローラー工法/1,420.2㎡  
建設/㈱オキナワ技研  
施工/㈱オキナワ技研



■鏡原マンション改修工事(沖縄)  
建築外装用ハイブリッド無機塗料「シルビアセラティール」ウールローラー工法/4,850.2㎡  
建築用塗膜防水材「ブルーフロン(リユール)」X-1工法/395.6㎡  
建設/㈱オキナワ技研  
施工/㈱オキナワ技研



▲施工前



表紙イラスト／駒田寿郎

## 日本特殊塗料株式会社

■ 本 社	〒114-8584 東京都北区王子3-23-2	☎(03)3913-6131	●FAX(03)3913-6183
■ 開発本部・ 開発センター	〒114-0003 東京都北区豊島8-16-15	☎(03)5390-0661~6	●FAX(03)3914-1085
■ 塗料事業本部			
東京営業所	〒114-8584 東京都北区王子3-23-2	☎(03)3913-6203	●FAX(03)3913-6323
神奈川営業所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2135	●FAX(0463)23-3739
中部営業所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12	☎(0566)81-8111	●FAX(0566)81-8124
大阪営業所	〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12	☎(06)6386-8492	●FAX(06)6338-3560
中四国営業所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-8231	●FAX(082)423-8256
九州営業所	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5766	●FAX(0942)89-5762
DIY販売部	〒123-0865 東京都足立区新田2-11-4	☎(03)3919-6001	●FAX(03)3919-6681
平塚工場	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2131	●FAX(0463)22-6423
静岡工場	〒437-1612 静岡県御前崎市池新田4455	☎(0537)86-2491	●FAX(0537)86-7835
愛知工場	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12	☎(0566)81-2771	●FAX(0566)82-4600
広島工場	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-3171	●FAX(082)423-3173
九州工場	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5661	●FAX(0942)89-5411
■ 自動車製品事業本部			
営業統括部	〒114-0003 東京都北区豊島8-16-15	☎(03)5390-0663	●FAX(03)3914-1085
東日本第1営業所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2132	●FAX(0463)23-3739
東日本第2営業所	〒374-0024 群馬県館林市本町2-5-47 TM21 プラザ2階204号	☎(0276)75-1571	●FAX(0276)75-1578
中日本営業所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12	☎(0566)81-8112	●FAX(0566)82-4600
西日本第1営業所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-3171	●FAX(082)423-3173
西日本第2営業所	〒824-0022 福岡県行橋市稲童484-3	☎(0930)25-5091	●FAX(0930)25-6200
平塚工場	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2131	●FAX(0463)23-3739
静岡工場	〒437-1612 静岡県御前崎市池新田4455	☎(0537)86-2491	●FAX(0537)86-7835
愛知工場	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木12	☎(0566)81-2771	●FAX(0566)82-4600
広島工場	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-3171	●FAX(082)423-3173
東九州工場	〒824-0022 福岡県行橋市稲童484-3	☎(0930)25-5091	●FAX(0930)25-6200

●日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>